

平成28年度 山口支部医療費分析



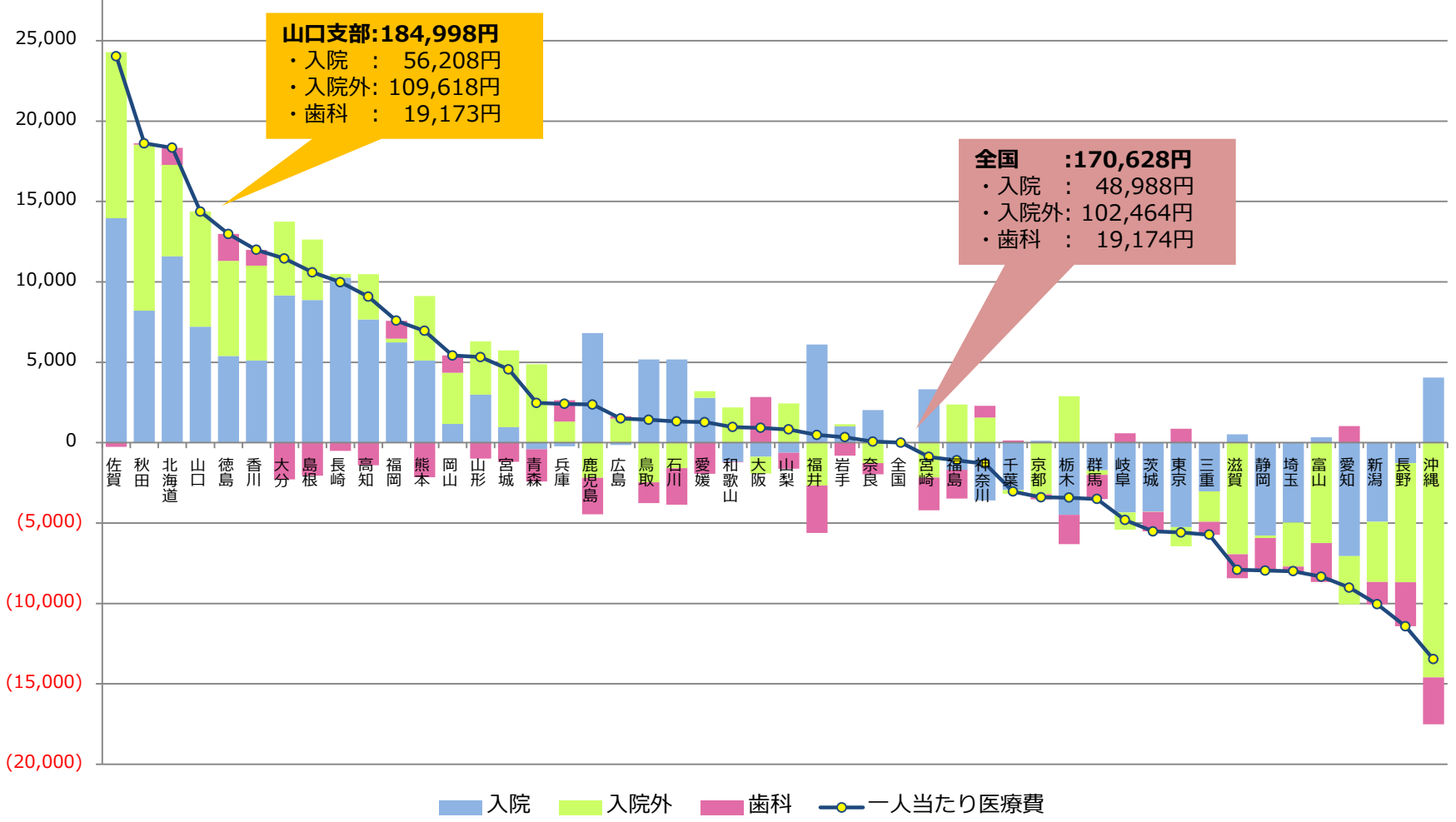
全国健康保険協会 山口支部
協会けんぽ

I. 山口支部医療費の全国との比較



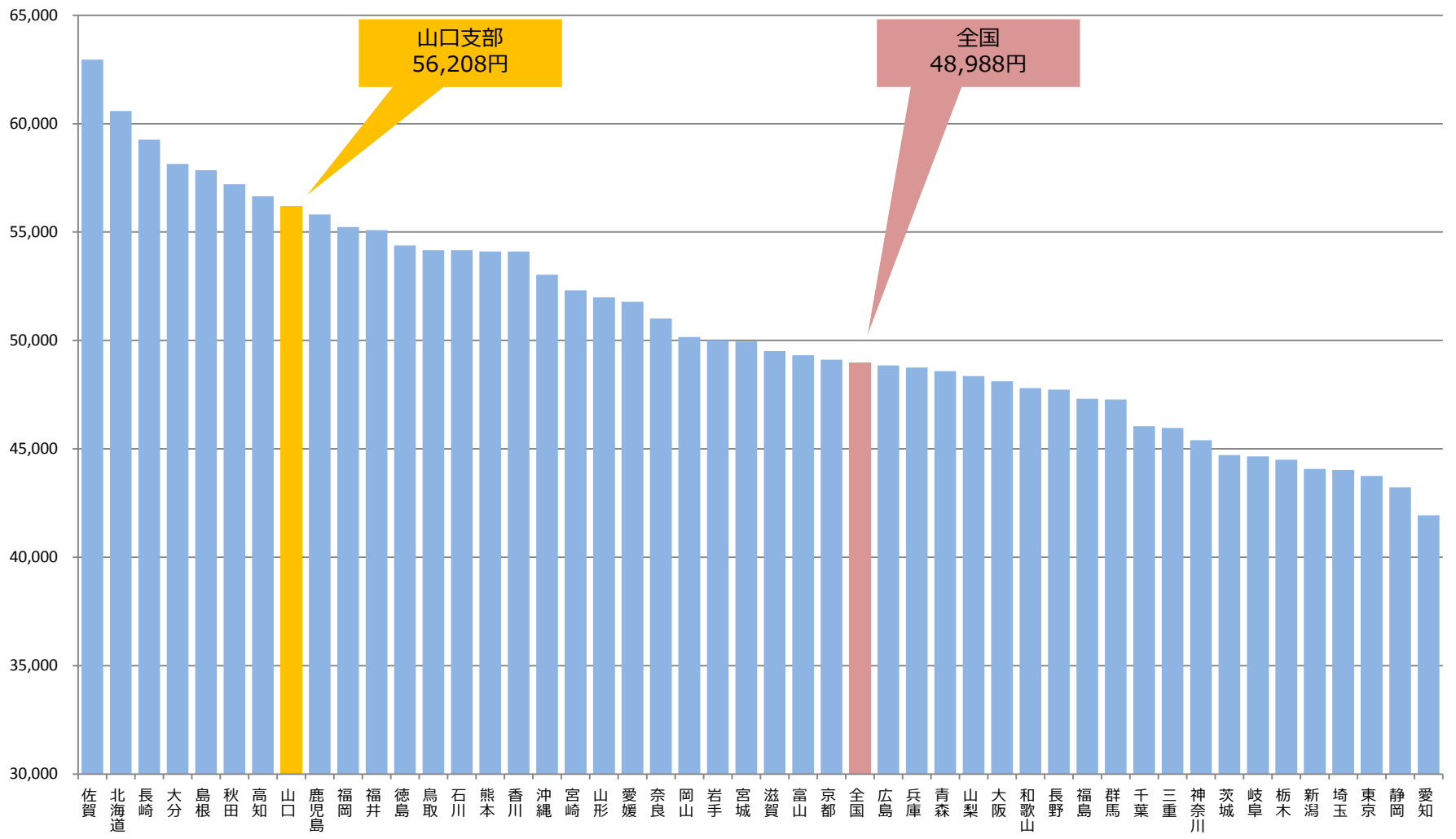
加入者1人あたりの診療種別医療費の全国比較（平成28年度）

山口支部は184,998円で全国平均を14,370円上回っており、**全国4位**ととても高い水準にあります。内訳では、**入院は全国平均より高く、入院外は全国平均より非常に高い水準**です。歯科は全国平均並みです。
 最高は佐賀支部の194,652円、最低は沖縄支部の157,164円です。
 ※グラフの縦軸は全国平均との差（単位：円）



山口支部加入者1人あたりの入院医療費の全国比較（平成28年度）

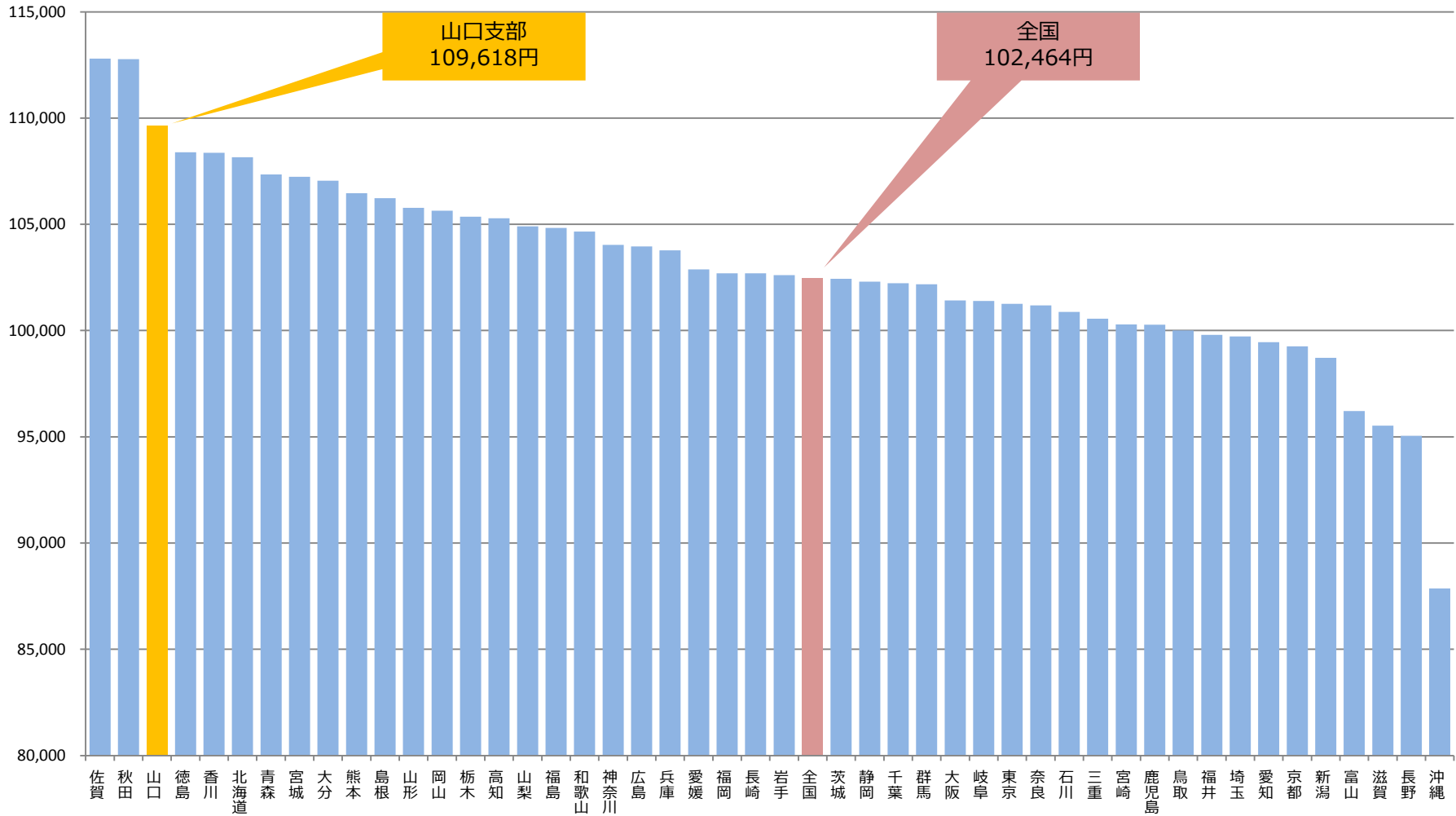
山口支部は56,208円で全国平均を7,220円上回っており、全国8位と高い水準にあります。最高は佐賀支部の62,951円、最低は愛知支部の41,939円です。
 ※グラフの単位は円



山口支部加入者1人あたりの入院外医療費の全国比較（平成28年度）

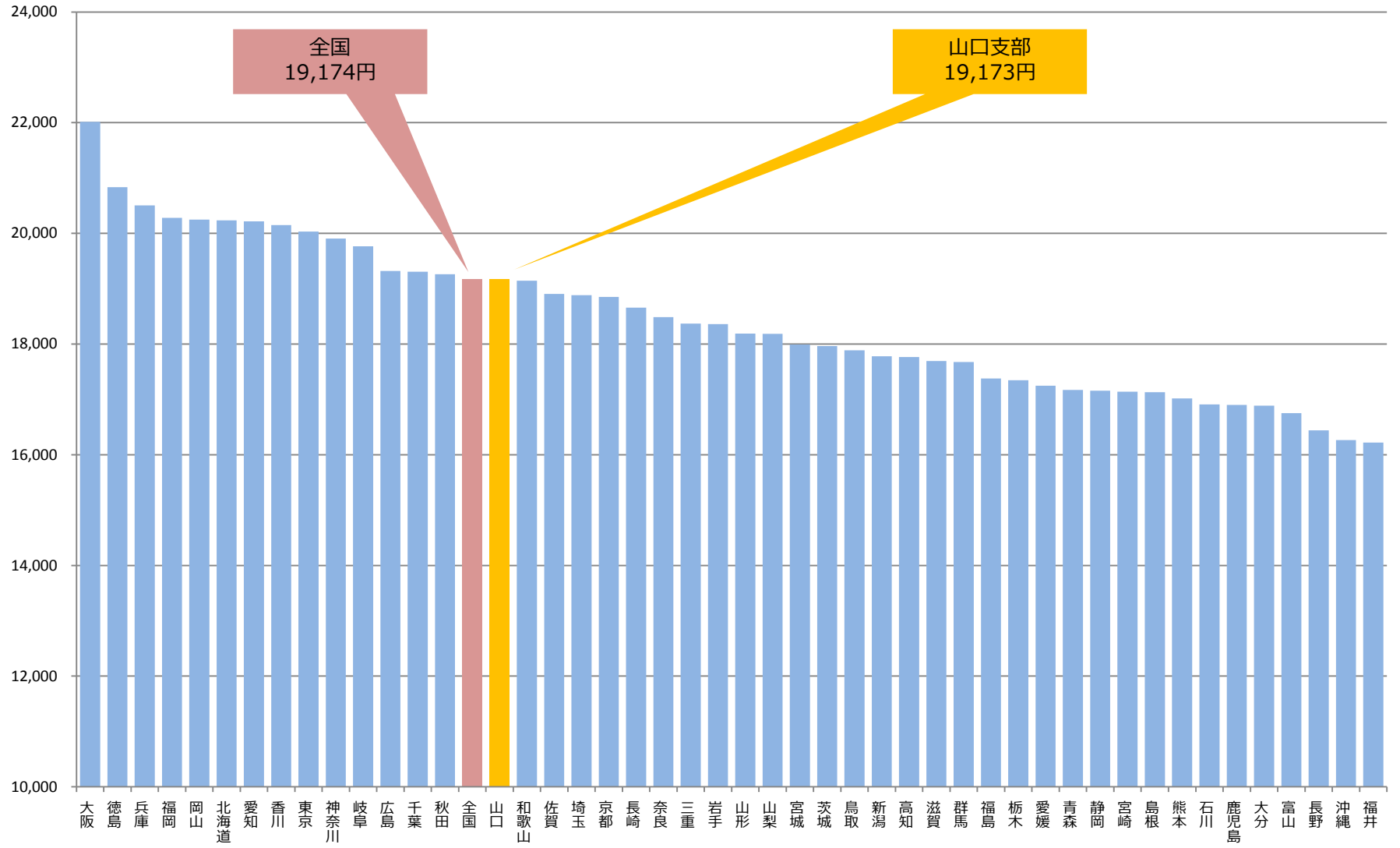
山口支部は109,618円で全国平均を7,154円上回っており、**全国3位**と**とても高い水準**にあります。最高は佐賀支部の112,792円、最低は沖縄支部の87,865円です。

※グラフの単位は円



山口支部加入者1人あたりの歯科医療費の全国比較（平成28年度）

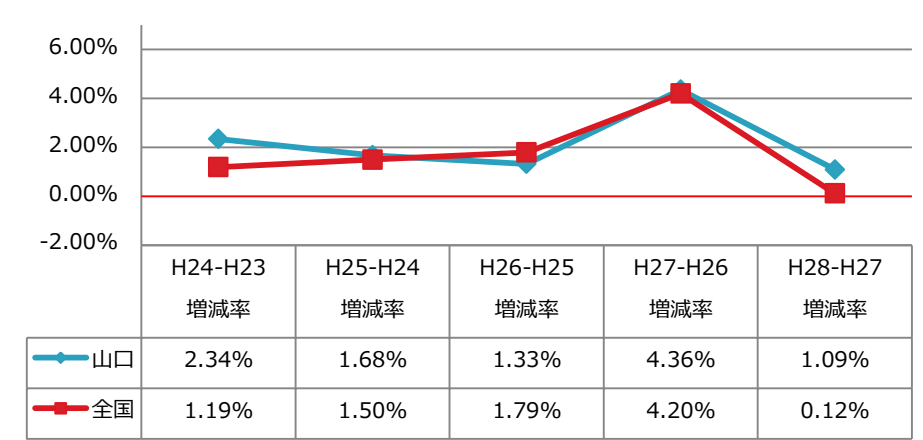
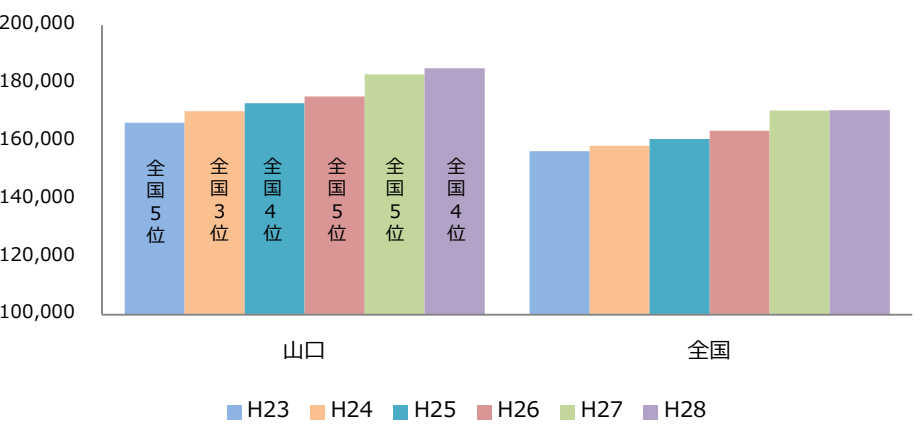
山口支部は19,173円で**全国平均並み**です。
 最高は大阪支部の22,015円、最低は福井支部の16,221円です。
 ※グラフの単位は円



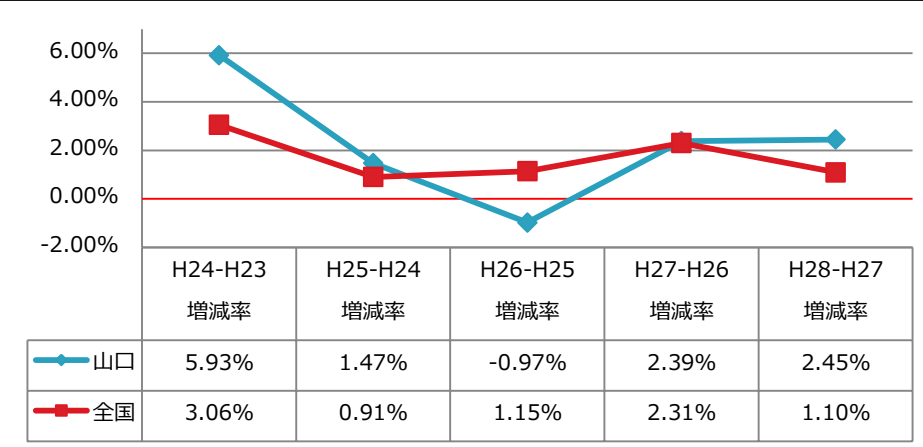
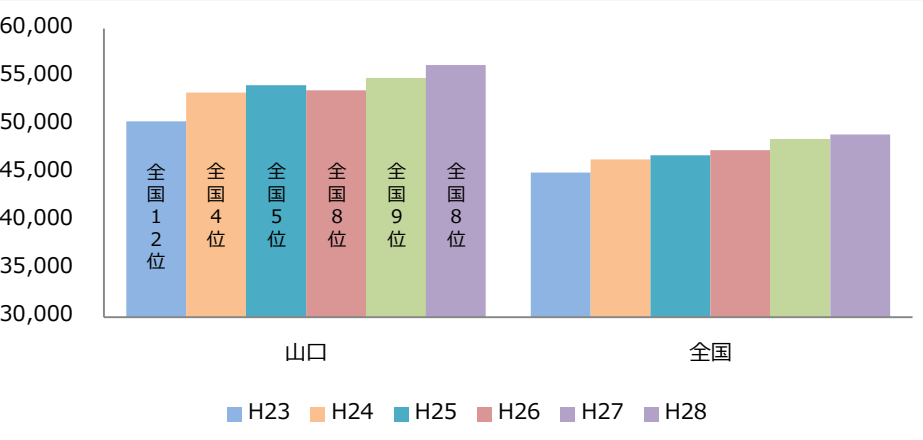
山口支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化

山口支部は1人あたりの医療費及び入院医療費が全国と比べて高いのみならず、H26-H25を除けば増減率も概ね高い傾向にあります。特にH28-H27の増減率と比べて全国平均よりも1.00%程度高い状況となっています。
 ※左側のグラフの単位は円

◆山口支部加入者1人あたりの医療費の経年変化



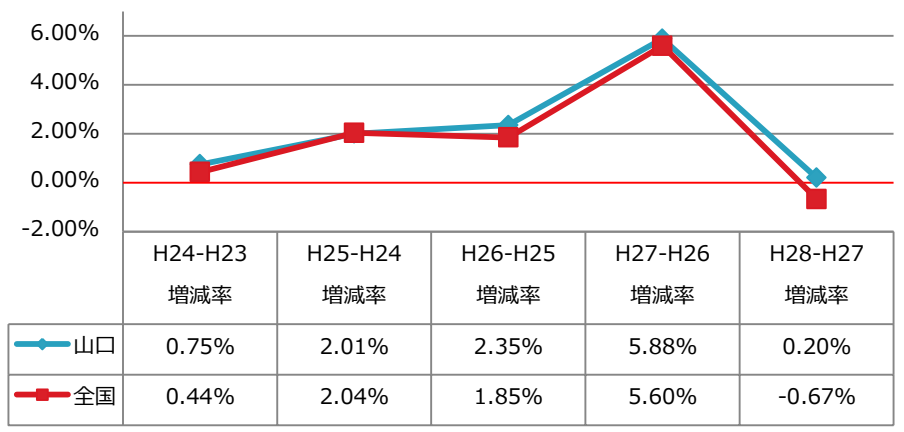
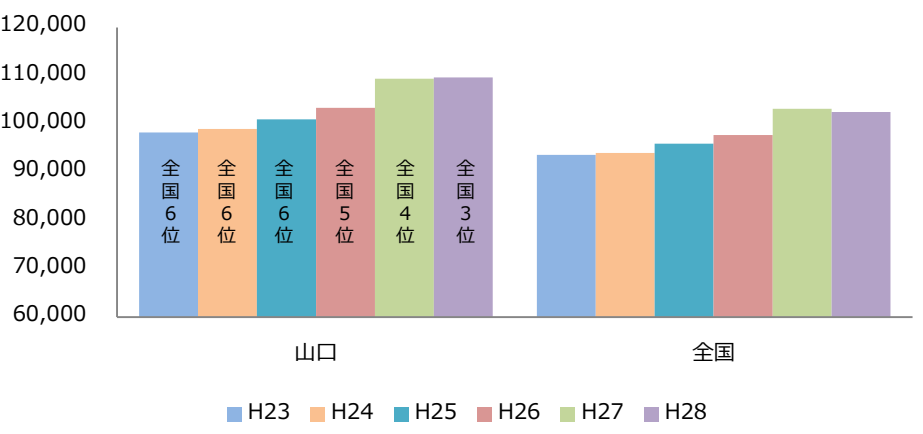
◆山口支部加入者1人あたりの入院医療費の経年変化



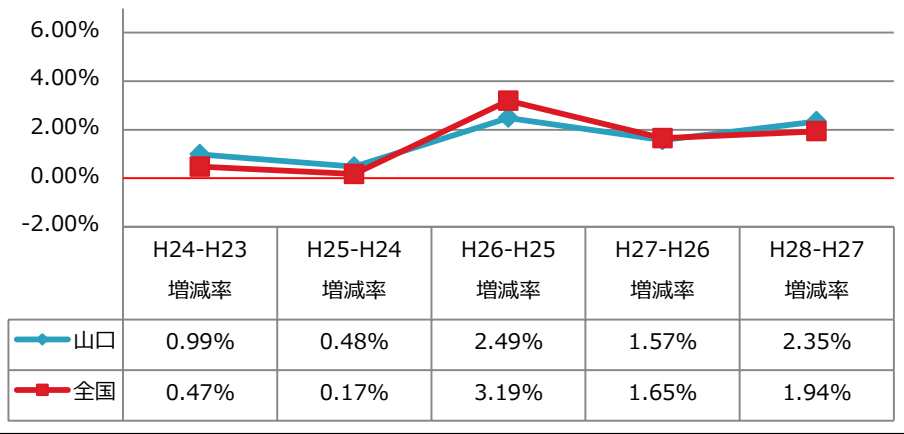
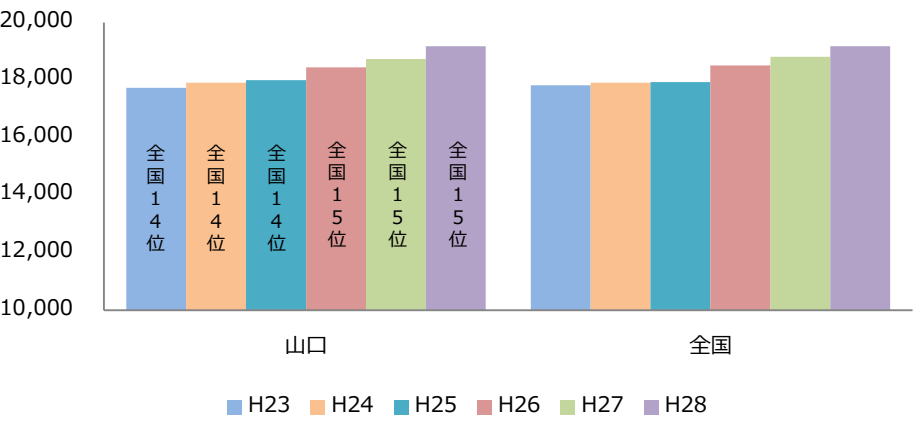
山口支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化

1人あたりの入院外医療費は全国と比べてとても高いのみならず、H26-H25を除けば増減率も若干高い傾向にあります。
 1人あたりの歯科医療費は全国平均並みであり、増減率は全国平均と同程度となっています。
 ※左側のグラフの単位は円

◆山口支部加入者1人あたりの入院外医療費の経年変化



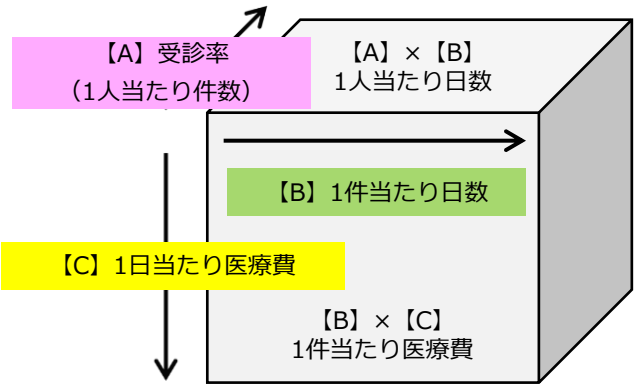
◆山口支部加入者1人あたりの歯科医療費の経年変化



医療費の3要素分解とは…

1人あたり医療費は3要素に分解することができ、それぞれの要素の数値を様々な角度から比較することで、加入者の受診傾向などを把握することが可能となります。

◆1人あたり医療費の構成3要素



◆医療費の動向分析の切り口

	医療【需要側】に関する主な要因	医療【供給側】に関する主な要因
[A] 受診率	健康度 症状の程度 受診意識	医療機関数 医師数 病床数
[B] 1件あたり日数	疾病構造 症状の程度 受診意識	診療行為
[C] 1日あたり医療費	疾病構造 症状の程度	診療行為

◆1人あたり医療費を構成する3要素

$$\text{1人あたり医療費} = \text{[A] 受診率} \times \text{[B] 1件あたり日数} \times \text{[C] 1日あたり医療費}$$

[A] 受診率 = 一定期間内(※)に医療機関にかかった人の割合 (レセプト件数を加入者数で除した値)

[B] 1件あたり日数 = 一定期間内(※)に医療機関にかかった日数 (診療の総日数をレセプト件数で除した値)

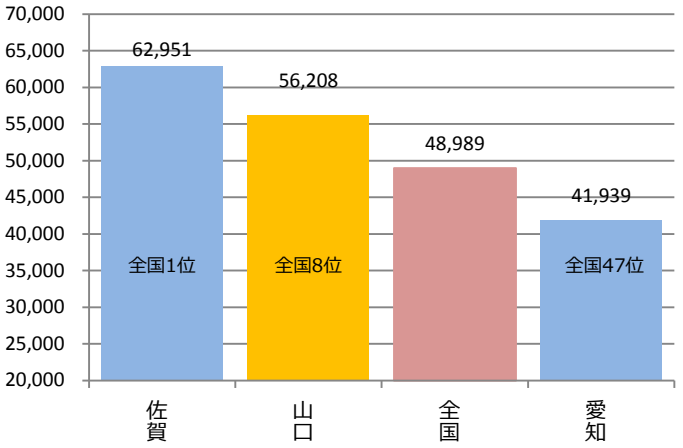
[C] 1日あたり医療費 = 1日当たりにかかった医療費 (総医療費を診療の総日数で除した値)

➤次ページから、医療費の3要素分解をしてみます。

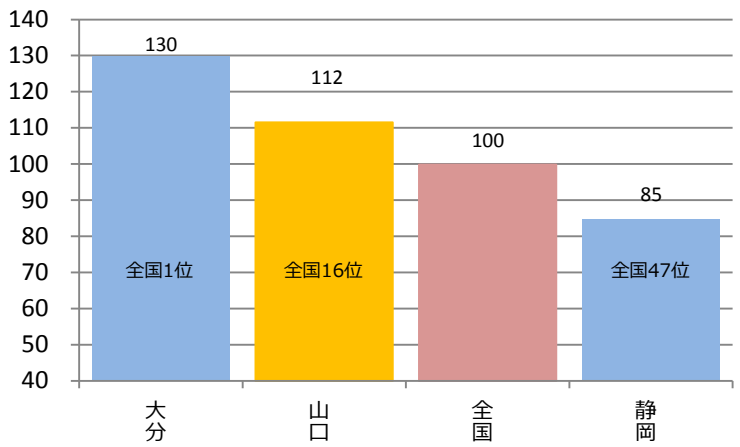
山口支部加入者1人あたり入院医療費の3要素分解（平成28年度）

山口支部の入院医療費の特徴として、【B】1件あたりの日数が全国と比べてとても高い傾向にあります。【C】1日あたりの医療費は低い傾向にあります。

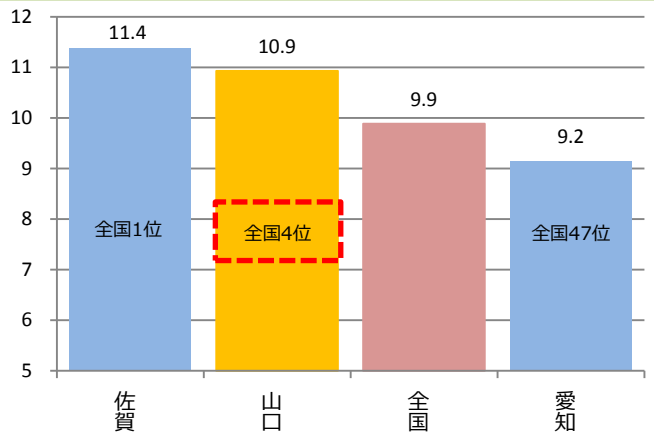
1人あたりの医療費（単位：円/人）



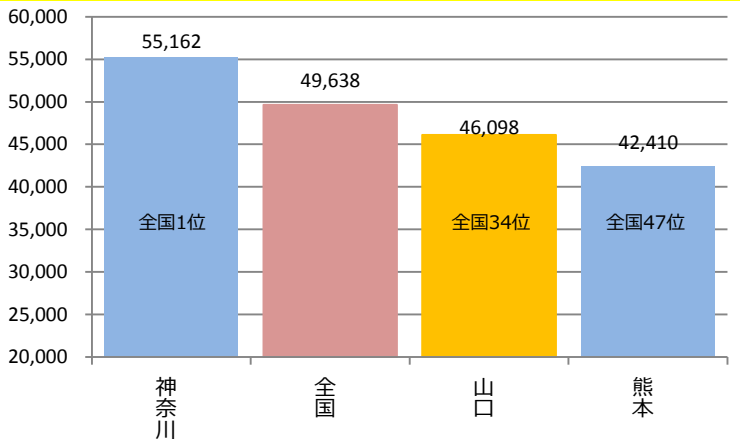
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



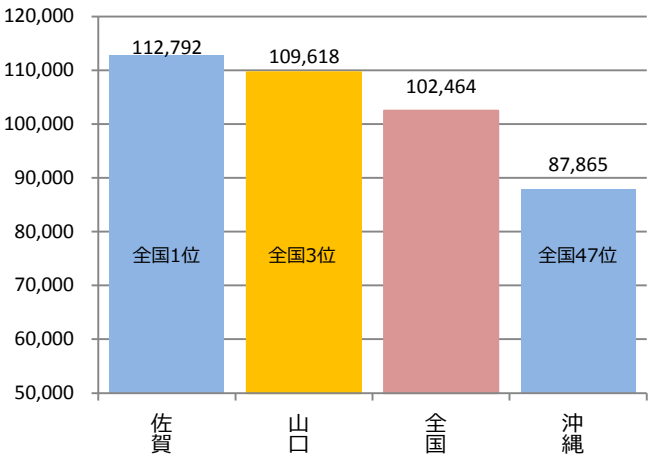
【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



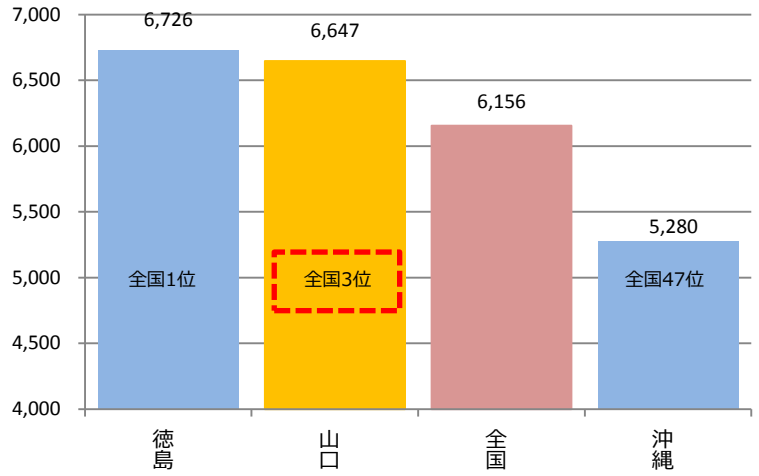
山口支部加入者1人あたり入院外医療費の3要素分解（平成28年度）

山口支部の入院外医療費の特徴として、【A】1人あたりの件数（受診率）が全国と比べてとても高い傾向にあります、【C】1日あたりの医療費は若干低い傾向にあります。

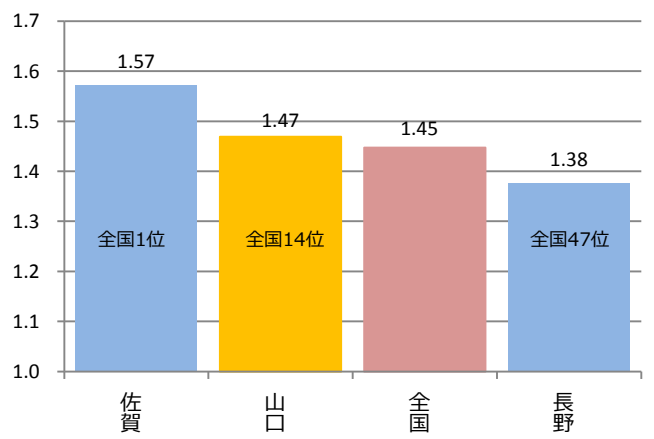
1人あたりの医療費（単位：円/人）



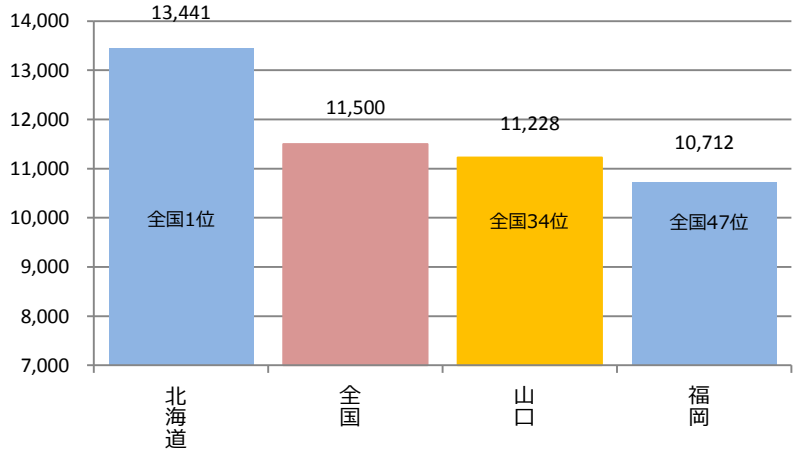
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



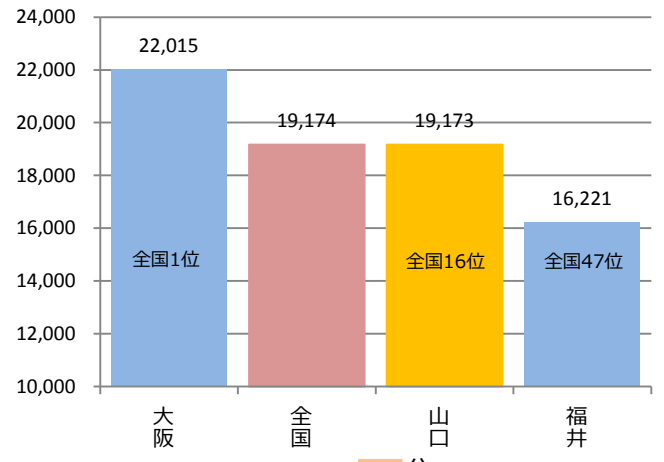
【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



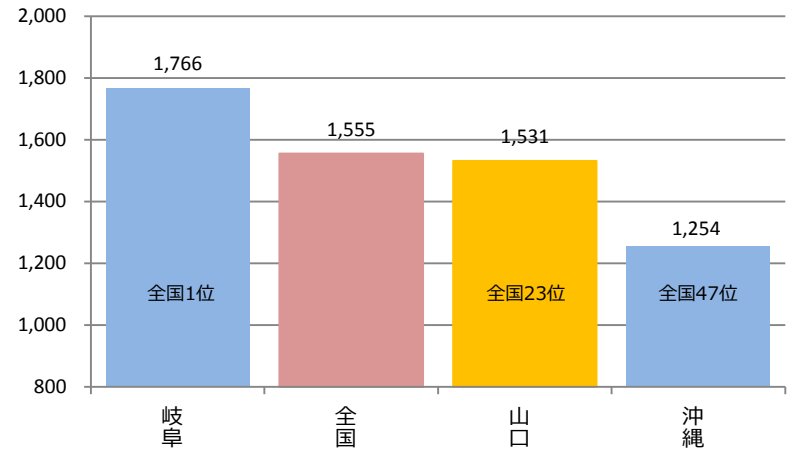
山口支部加入者1人あたり歯科医療費の3要素分解（平成28年度）

山口支部の歯科医療費の特徴として、【B】1件あたりの日数が全国と比べて高い傾向にあります。

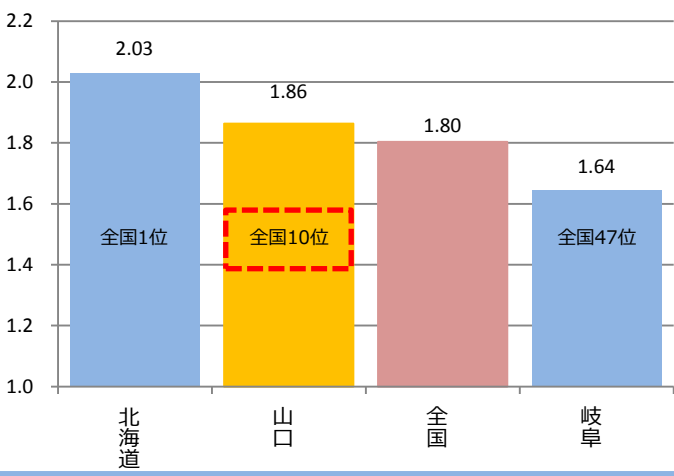
1人あたりの医療費（単位：円/人）



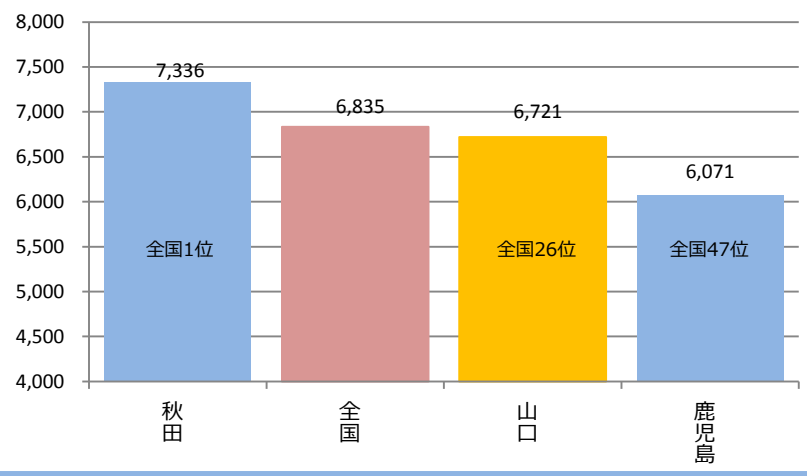
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



疾病種別ごとの山口支部加入者1人あたり医療費（平成28年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「循環器系の疾患」、「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で**全体の1/3（36.7%）**を占め、それらを含む上位5位までで**全体の5割（56.4%）**を超えています。なお、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの山口支部の1人当たり医療費を見てみると、全国と比べて**全体的に高い傾向**になっており、特に構成割合が大きい「新生物」は**全国7位**と高水準にあります。

疾病大分類名	山口支部加入者 一人当たり医療費(多い順)	山口支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名に おける全国順位
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	24,173	14.71%	14.61%	11
新生物（>がん、白血病など）	22,845	13.91%	13.59%	7
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	19,791	12.05%	12.29%	6
内分泌、栄養及び代謝疾患（>糖尿病、甲状腺障害など）	13,251	8.07%	8.27%	15
筋骨格系及び結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節症など）	12,512	7.62%	7.52%	9
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	10,409	6.34%	6.37%	6
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	8,820	5.37%	5.75%	24
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	8,153	4.96%	4.53%	3
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	7,080	4.31%	4.22%	11
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	6,083	3.70%	3.44%	8
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	5,740	3.49%	3.75%	17
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	5,738	3.49%	3.54%	3
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	5,730	3.49%	3.94%	25
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,838	1.73%	1.43%	1
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	2,537	1.54%	1.65%	23
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	2,520	1.53%	1.46%	6
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	2,193	1.33%	1.38%	16
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	1,974	1.20%	1.19%	12
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,891	1.15%	1.09%	8

疾病種別ごとの山口支部加入者1人あたり入院医療費（平成28年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「新生物」、「循環器系の疾患」で**全体の4割（41.8%）を超え**、それらを含む上位5位までで**全体の約6割（62.8%）を占めています**。なお、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの山口支部の1人当たり入院医療費を見てみると、全国と比べて**全体的に高い傾向**になっており、特に構成割合が大きい「新生物」が**全国7位**、「循環器系の疾患」が**全国6位**と高水準にあります。これらが影響して山口支部全体の1人当たり入院医療費が**全国8位**という高順位になっています。

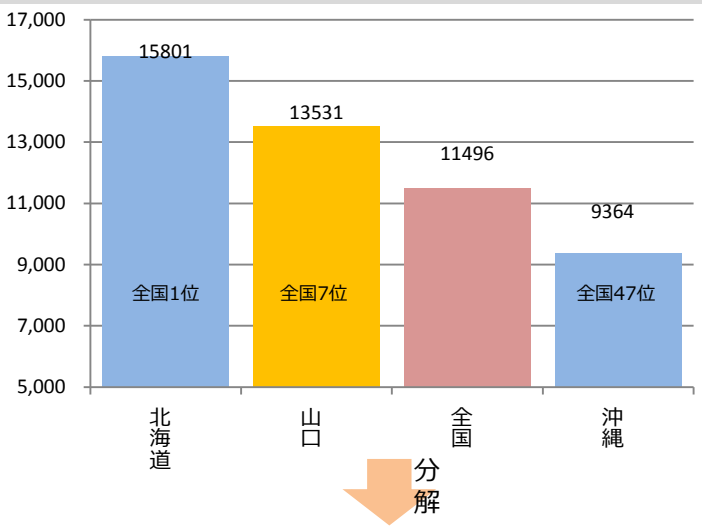
疾病大分類名	山口支部加入者 一人あたり医療費(多い順)	山口支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名に おける全国順位
新生物（>がん、白血病など）	13,531	24.20%	23.57%	7
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	9,851	17.62%	18.20%	6
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	4,284	7.66%	7.36%	12
筋骨格系及び結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節症など）	3,933	7.03%	7.28%	20
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	3,526	6.31%	6.97%	18
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	2,621	4.69%	4.30%	11
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	2,592	4.64%	4.02%	7
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	2,577	4.61%	4.99%	19
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	2,257	4.04%	4.51%	22
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	2,159	3.86%	3.70%	6
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	2,065	3.69%	3.70%	11
内分泌、栄養及び代謝疾患（>糖尿病、甲状腺障害など）	1,367	2.44%	2.16%	6
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	1,361	2.43%	2.77%	24
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	966	1.73%	1.75%	13
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	893	1.60%	1.73%	18
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	637	1.14%	0.93%	2
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	483	0.86%	0.71%	2
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	421	0.75%	0.75%	13
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	390	0.70%	0.61%	3

> 上位のうち、生活習慣病を含む「新生物」「循環器系の疾患」の医療費の3要素分解をしてみます。

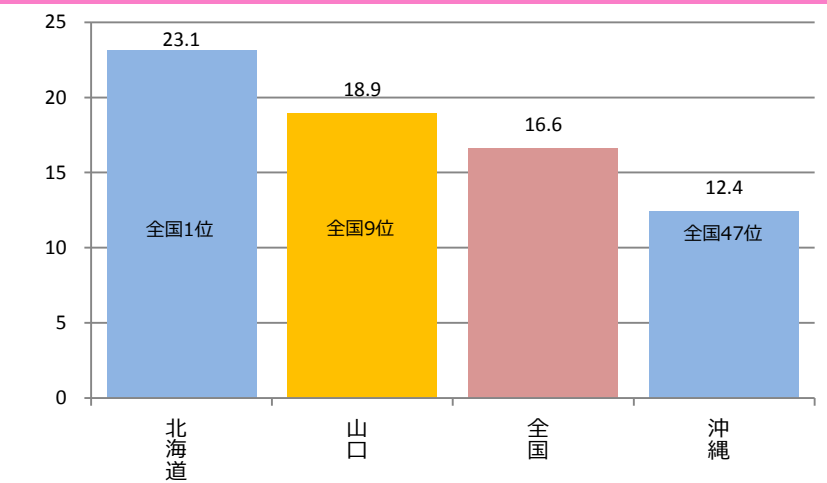
新生物の山口支部加入者1人あたり入院医療費（平成28年度）

3要素分解をしてみると、1日あたりの医療費は全国43位であるにもかかわらず、1件あたりの日数が全国1位と、特徴的であることが分かります。

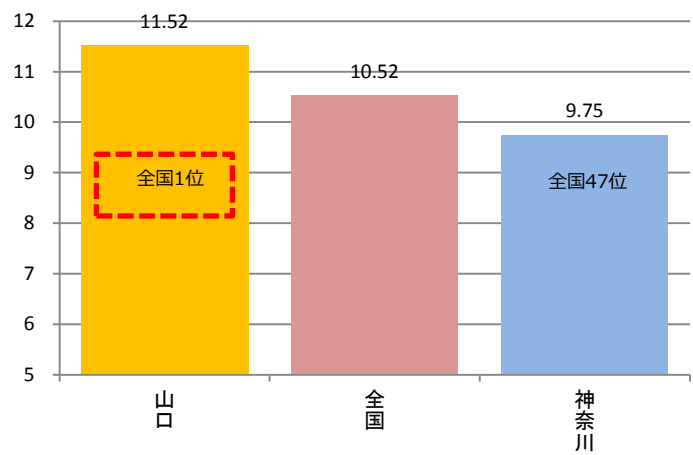
1人あたりの医療費（単位：円/人）



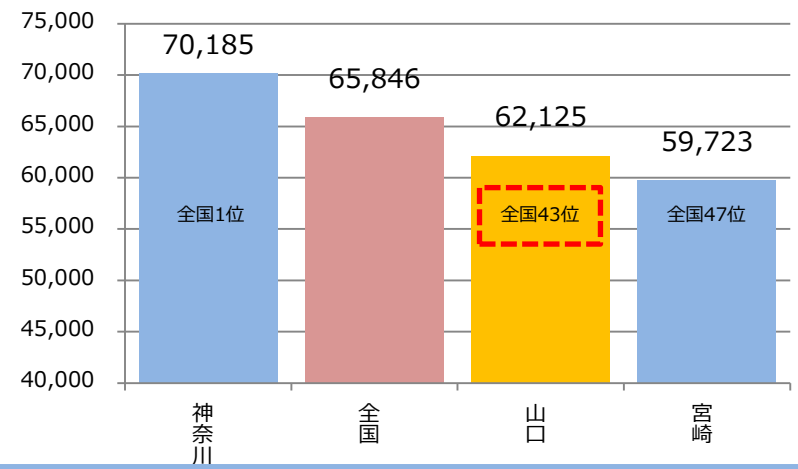
【A】 1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】 1件あたりの日数（単位：日/件）



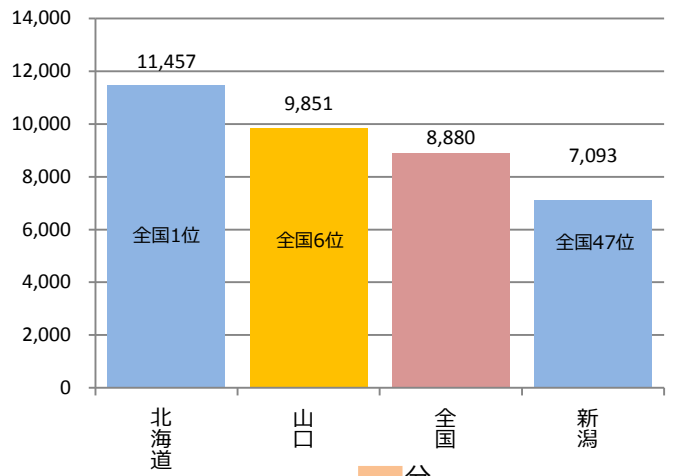
【C】 1日あたりの医療費（単位：円/日）



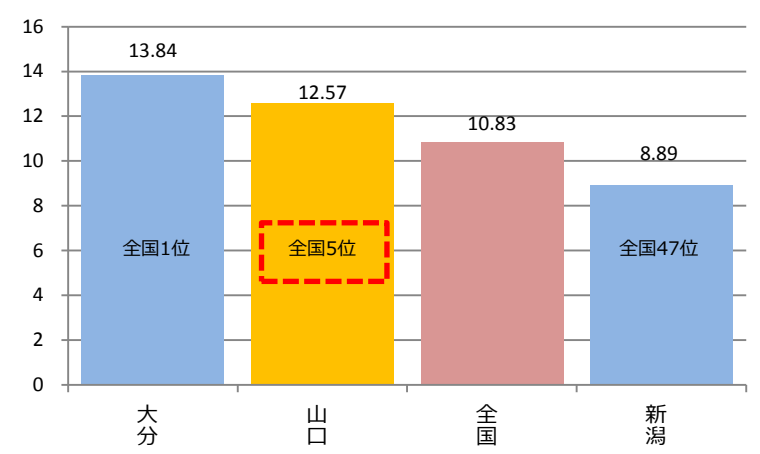
循環器系の疾患の山口支部加入者1人あたり入院医療費（平成28年度）

3要素分解をしてみると、「新生物」の時と同様に1日あたりの医療費は全国38位であるにもかかわらず、**1件あたりの日数が全国7位**と、大変特徴的であることが分かります。また、**1人あたりの件数（受診率）も全国5位**と非常に高い傾向にあります。これは新生物の場合と類似しています。

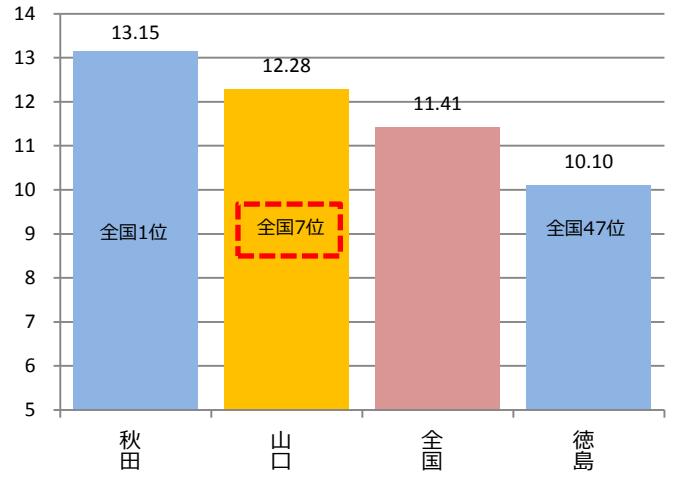
1人あたりの医療費（単位：円/人）



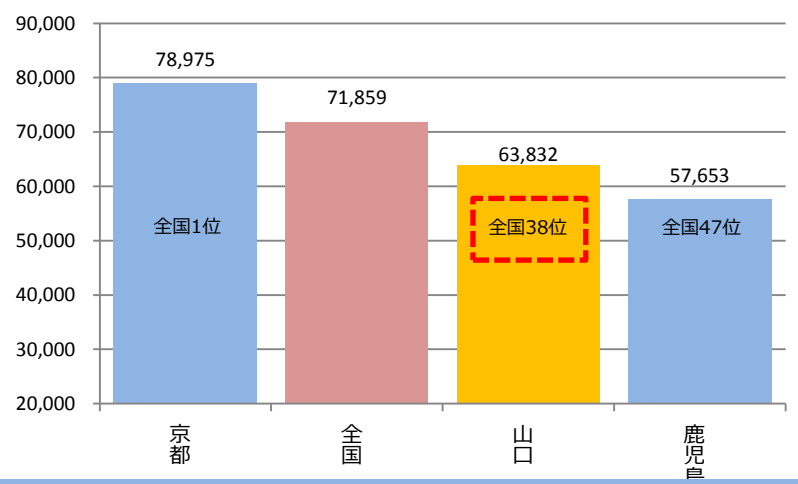
[A] 1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



[B] 1件あたりの日数（単位：日/件）



[C] 1日あたりの医療費（単位：円/日）



疾病種別ごとの山口支部加入者1人あたり入院外医療費（平成28年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」で**全体の3割（32.8%）**を超え、それらを含む上位5位までで**全体の5割（56.6%）**を超えています。なお、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの山口支部の1人あたり入院外医療費を見てみると、全国に比べて**全体的に高い傾向**になっており、このことが影響して山口支部全体の一人あたり入院外医療費が**全国3位**という高順位になっています。

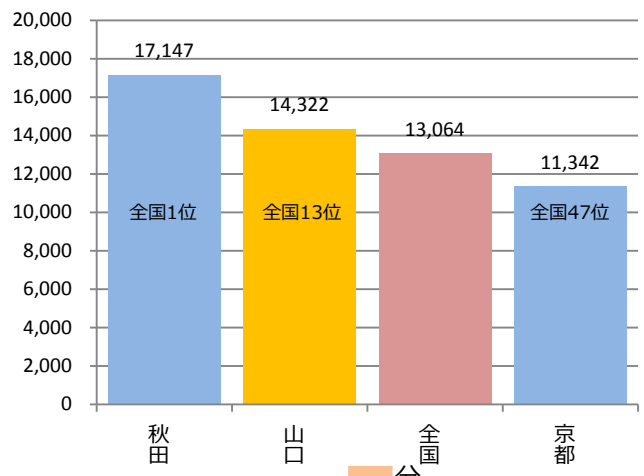
疾病大分類名	山口支部加入者 一人あたり医療費(多い順)	山口支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名に おける全国順位
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	17,214	15.89%	15.80%	5
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	14,322	13.22%	12.88%	13
内分泌、栄養及び代謝疾患（>糖尿病、甲状腺障害など）	11,885	10.97%	11.21%	17
新生物（>がん、白血病など）	9,314	8.59%	8.79%	20
筋骨格系及び結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節症など）	8,580	7.92%	7.63%	7
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	6,883	6.35%	6.08%	5
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	6,755	6.23%	6.74%	31
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	5,560	5.13%	4.77%	4
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	5,310	4.90%	5.47%	26
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	4,844	4.47%	4.40%	3
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	4,774	4.41%	4.71%	22
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	3,462	3.19%	3.02%	6
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	2,796	2.58%	2.71%	20
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,355	2.17%	1.78%	1
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,501	1.39%	1.32%	11
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	1,337	1.23%	1.32%	26
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	832	0.77%	0.71%	9
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	361	0.33%	0.38%	29
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	280	0.26%	0.28%	24

> 上位のうち、生活習慣病を含む「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「新生物」の医療費の3要素分解をしてみます。

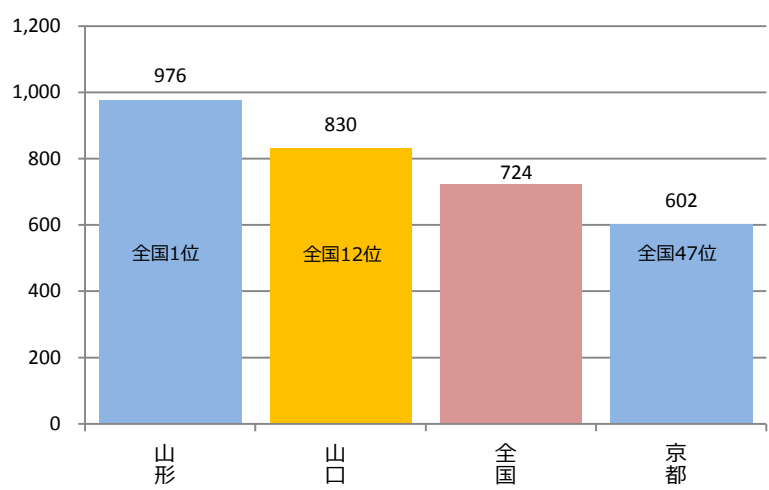
循環器系の疾患の山口支部加入者1人あたり入院外医療費（平成28年度）

3要素分解をしてみると、【A】1人あたりの件数（受診率）が全国と比べて若干高く、【C】1日あたりの医療費がかなり低い傾向にあります。

1人あたりの医療費（単位：円/人）



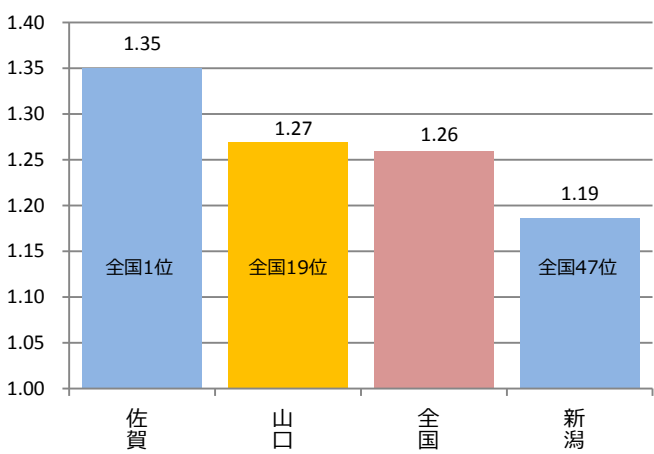
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



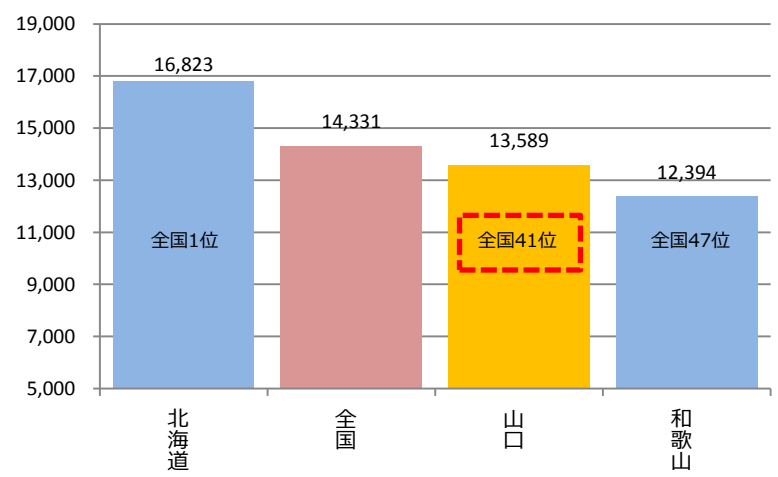
分解

分解

【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



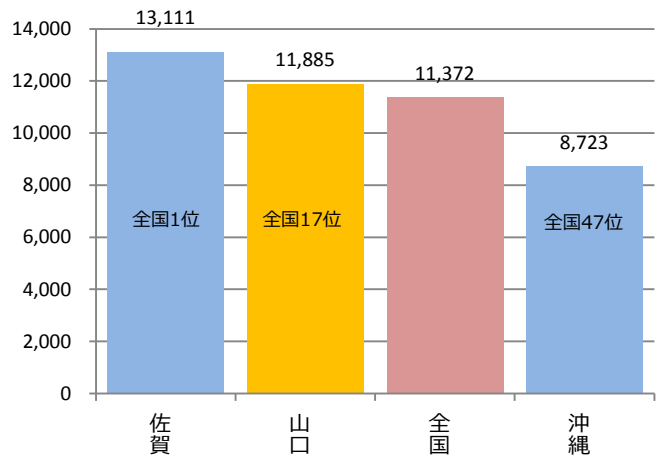
【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



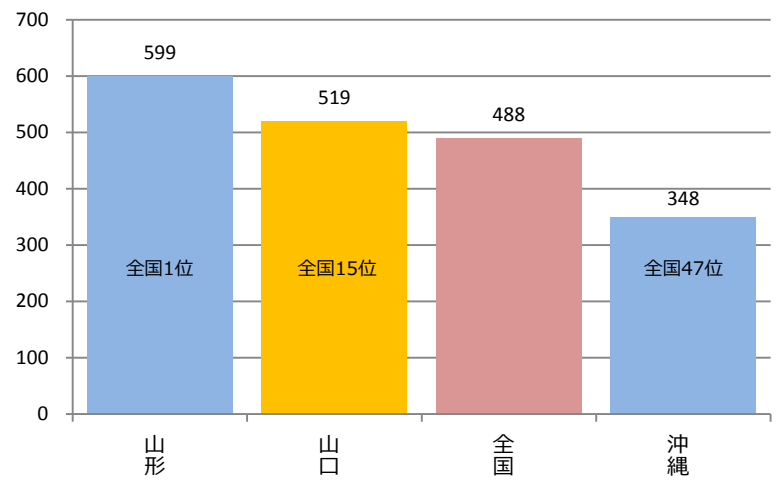
内分泌、栄養及び代謝疾患の山口支部加入者1人あたり入院外医療費（平成28年度）

3要素分解をしてみても、特に特徴的な傾向はありません。

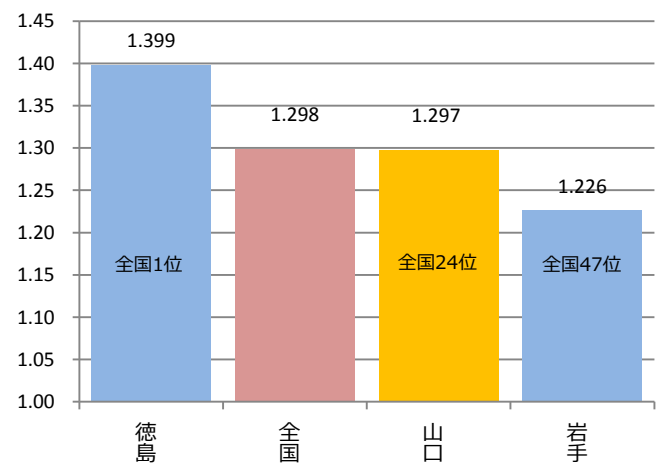
1人あたりの医療費（単位：円/人）



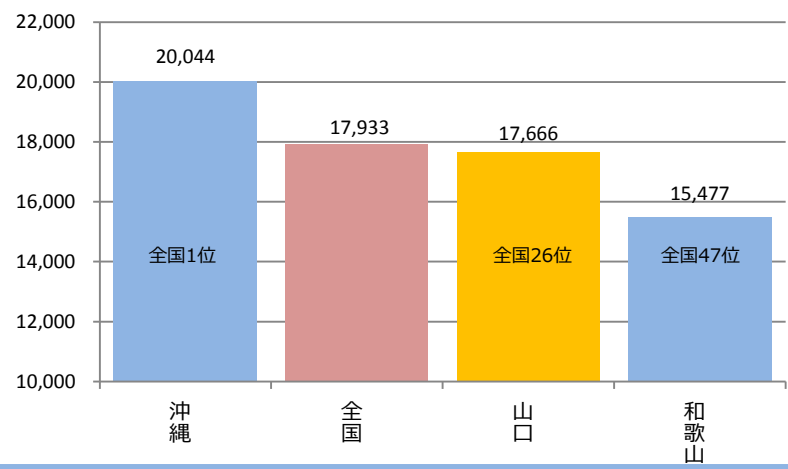
[A] 1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



[B] 1件あたりの日数（単位：日/件）



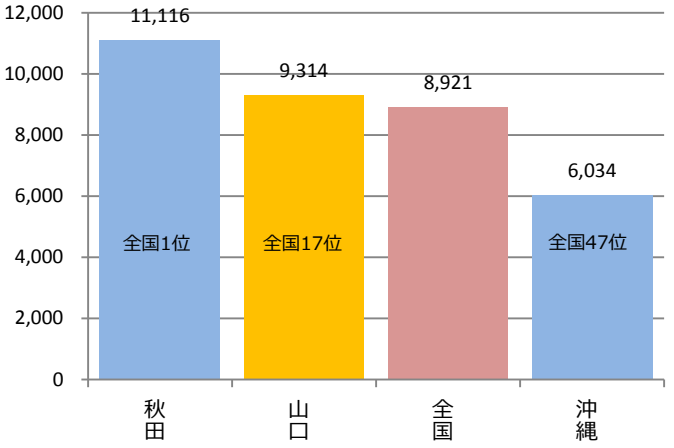
[C] 1日あたりの医療費（単位：円/日）



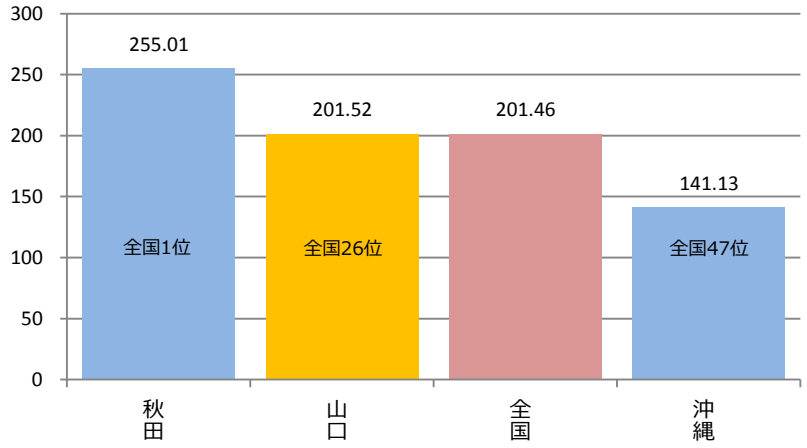
新生物の山口支部加入者1人あたり入院外医療費（平成28年度）

3要素分解をしてみると、【C】1日あたりの医療費が多い傾向があります。入院医療費は【B】1件あたりの日数が全国1位でしたが、入院外医療費に関して見ると全国平均並みとなっています。

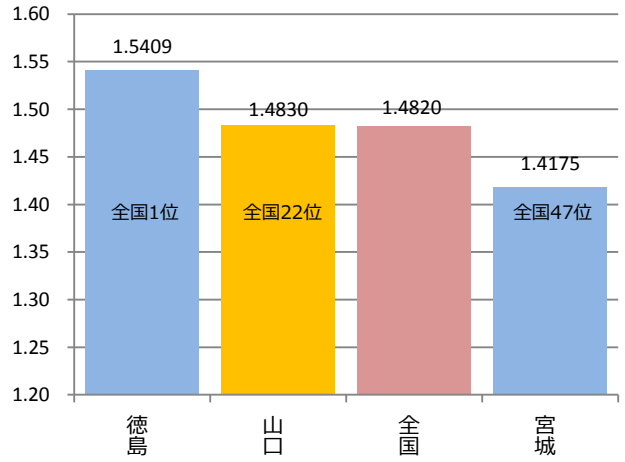
1人あたりの医療費（単位：円/人）



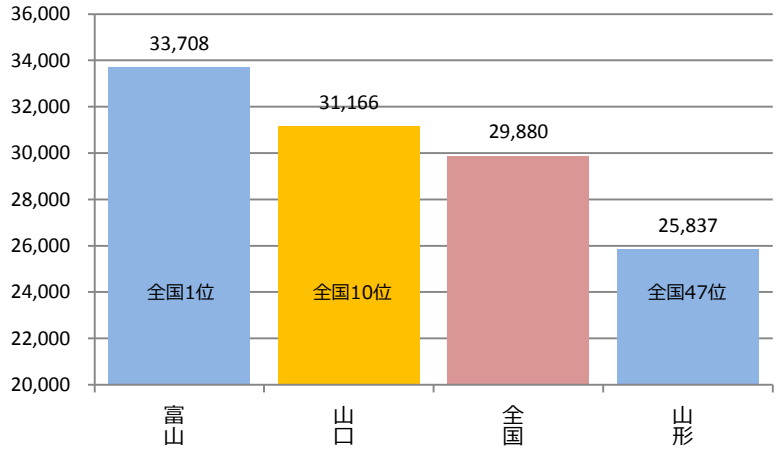
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）

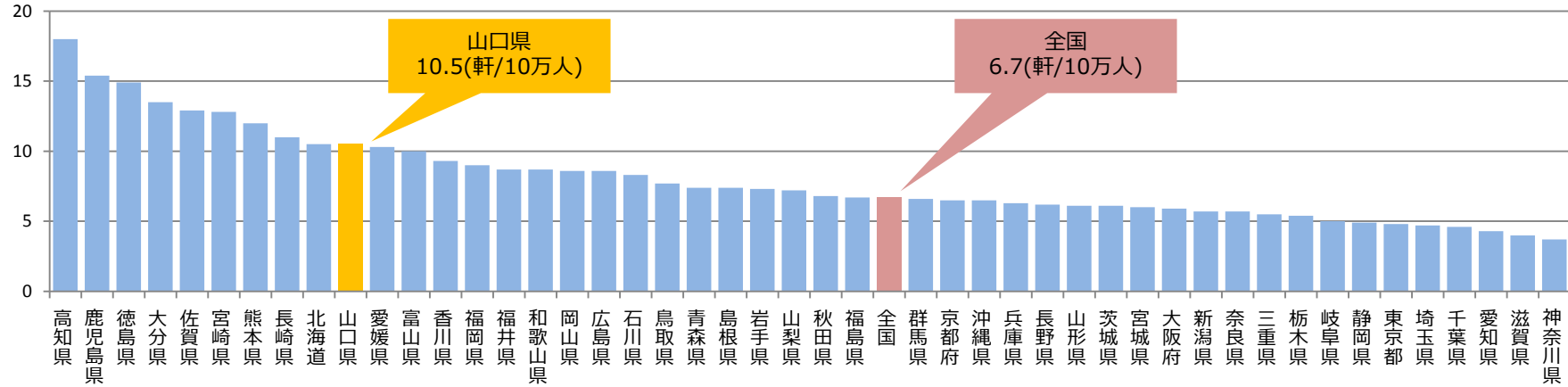


Ⅱ.山口県医療提供体制にかかる全国との比較

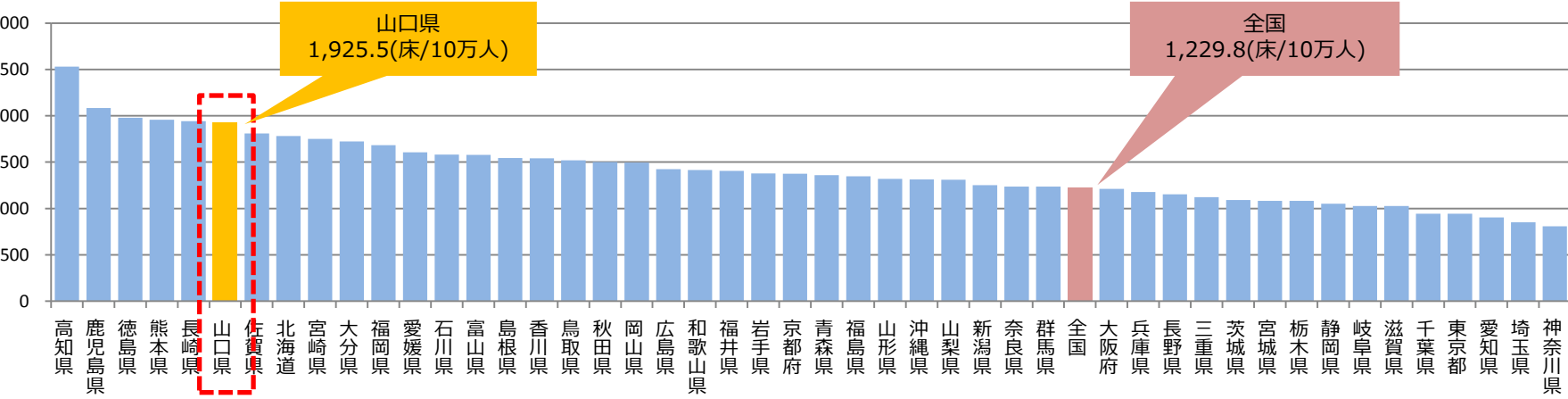
病院数とその病床数の全国比較（平成28年度）

山口県は病院数、病院病床数とも全国と比べて多く、病床数については**全国6位と高水準**です。
 このことは、**入院医療費の1件あたりの日数や平均在院日数が多い要因**として挙げることができます。なお、この傾向は平成27年度も同様でした。
 <参考> 病床数上位5県の平均在院日数> 高知支部：1位、鹿児島支部：3位、徳島支部：6位、熊本支部：5位、長崎支部：8位

◆人口10万人対病院数



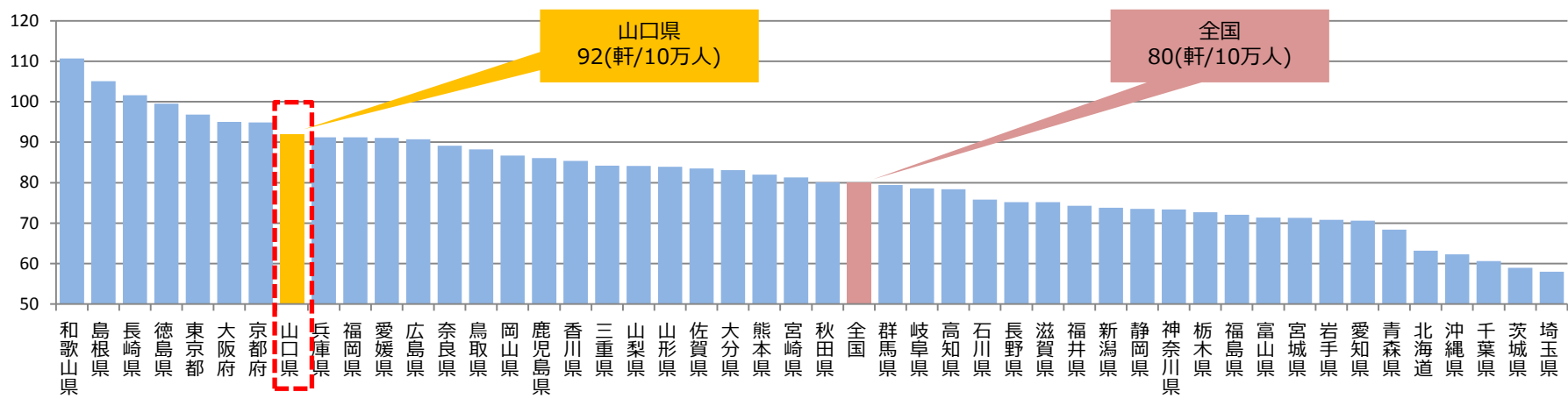
◆人口10万人対病院の病床数



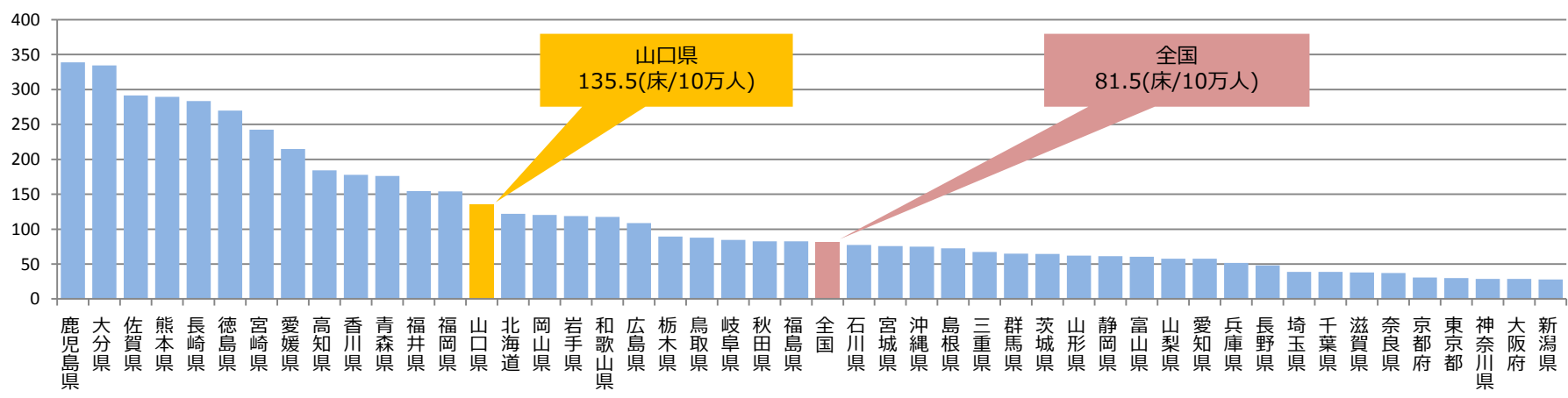
診療所数とその病床数の全国比較（平成28年度）

山口県は診療所数、診療所病床数とも全国と比べて多く、診療所数は**全国8位**です。

◆人口10万人対診療所数



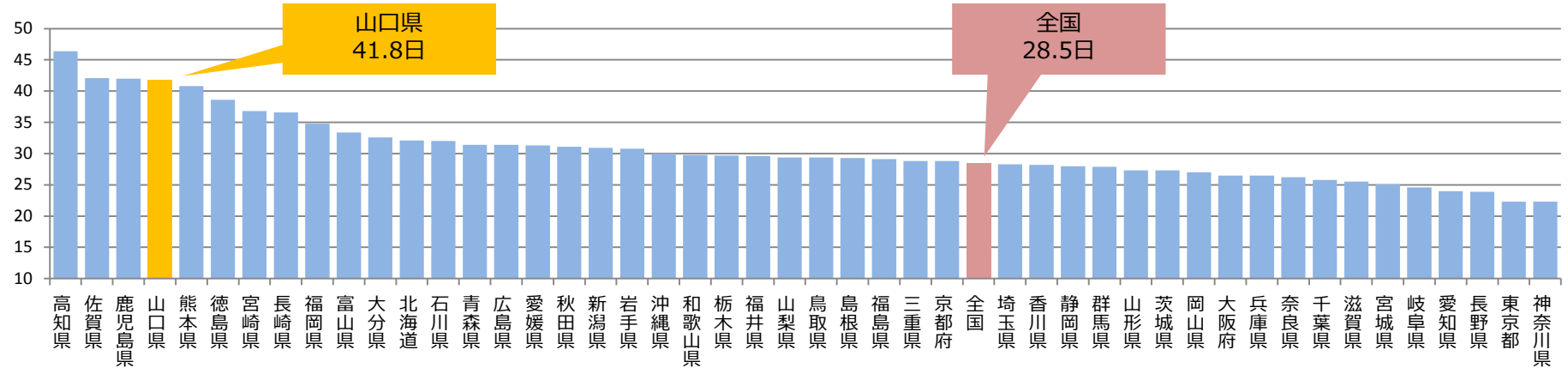
◆人口10万人対診療所の病床数



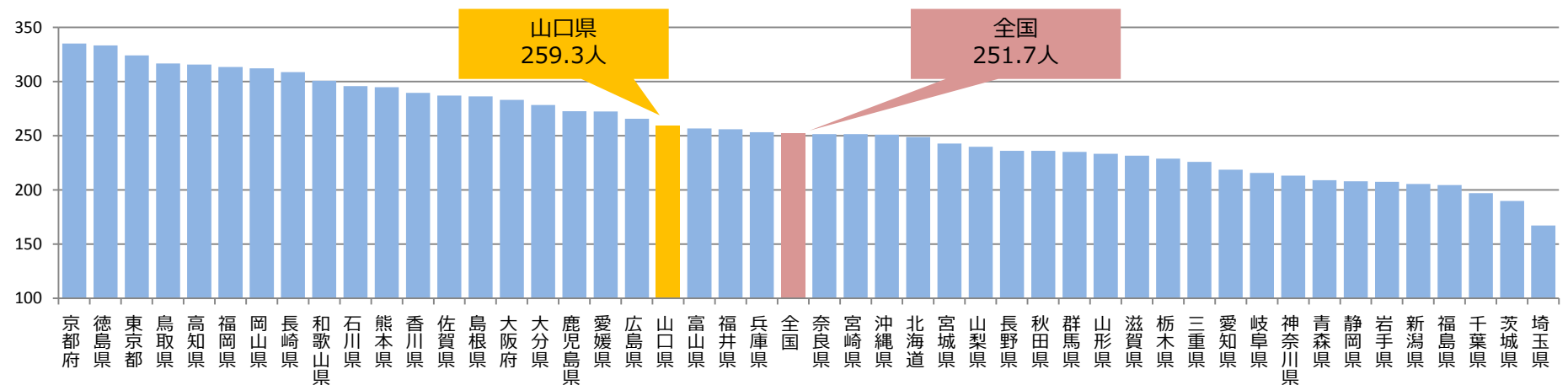
平均在院日数および医師数の全国比較（平成28年度）

山口県は平均在院日数が全国4位と**非常に高い**ことがわかります。また、平均在院日数が多いことは、入院医療費において1件あたりの日数が多い一つの要因と考えられます。医師数については全国平均並みとなっています。

◆ 平均在院日数



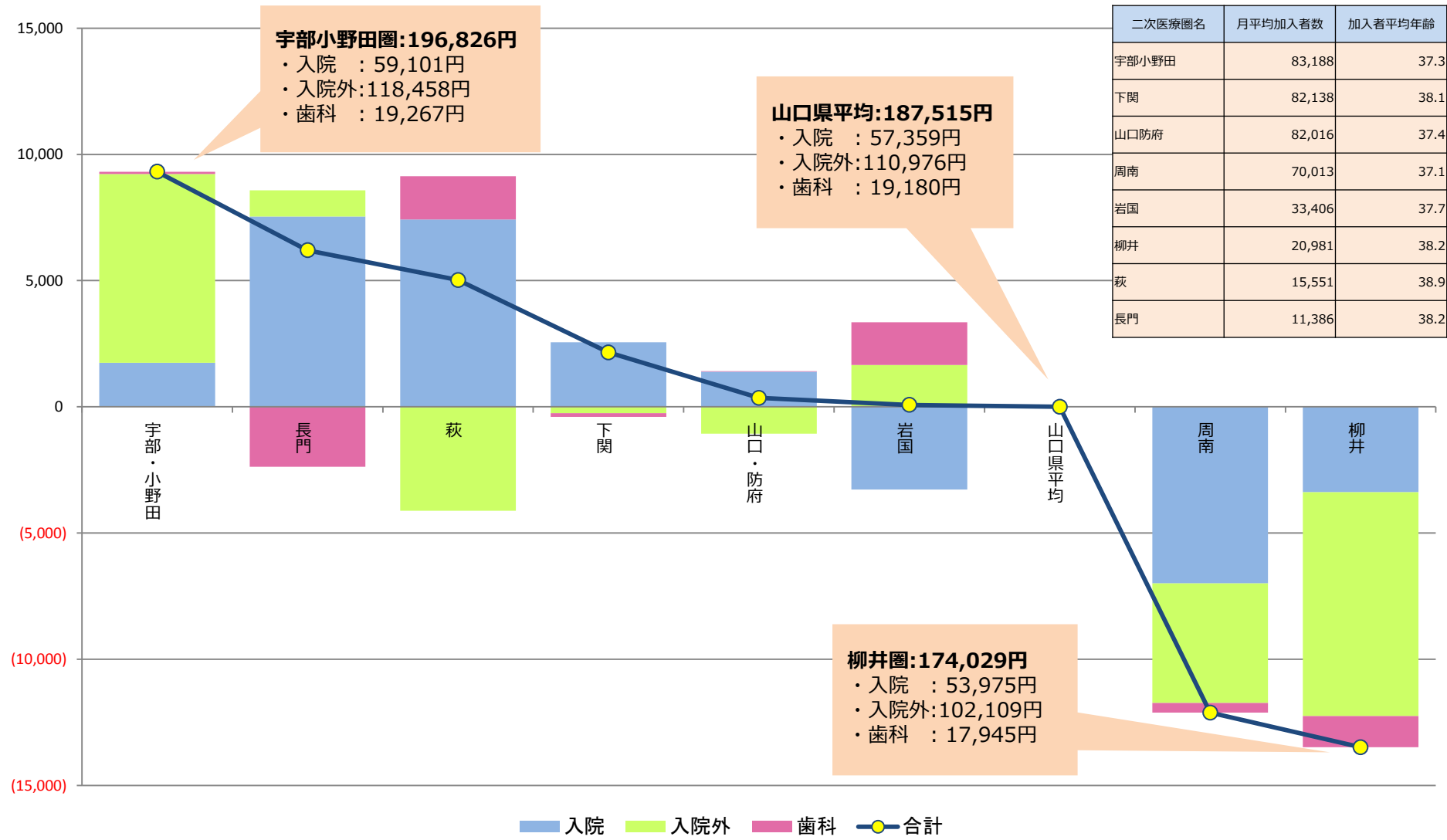
◆ 人口10万人対医師数



Ⅲ.山口支部医療費の県内での比較

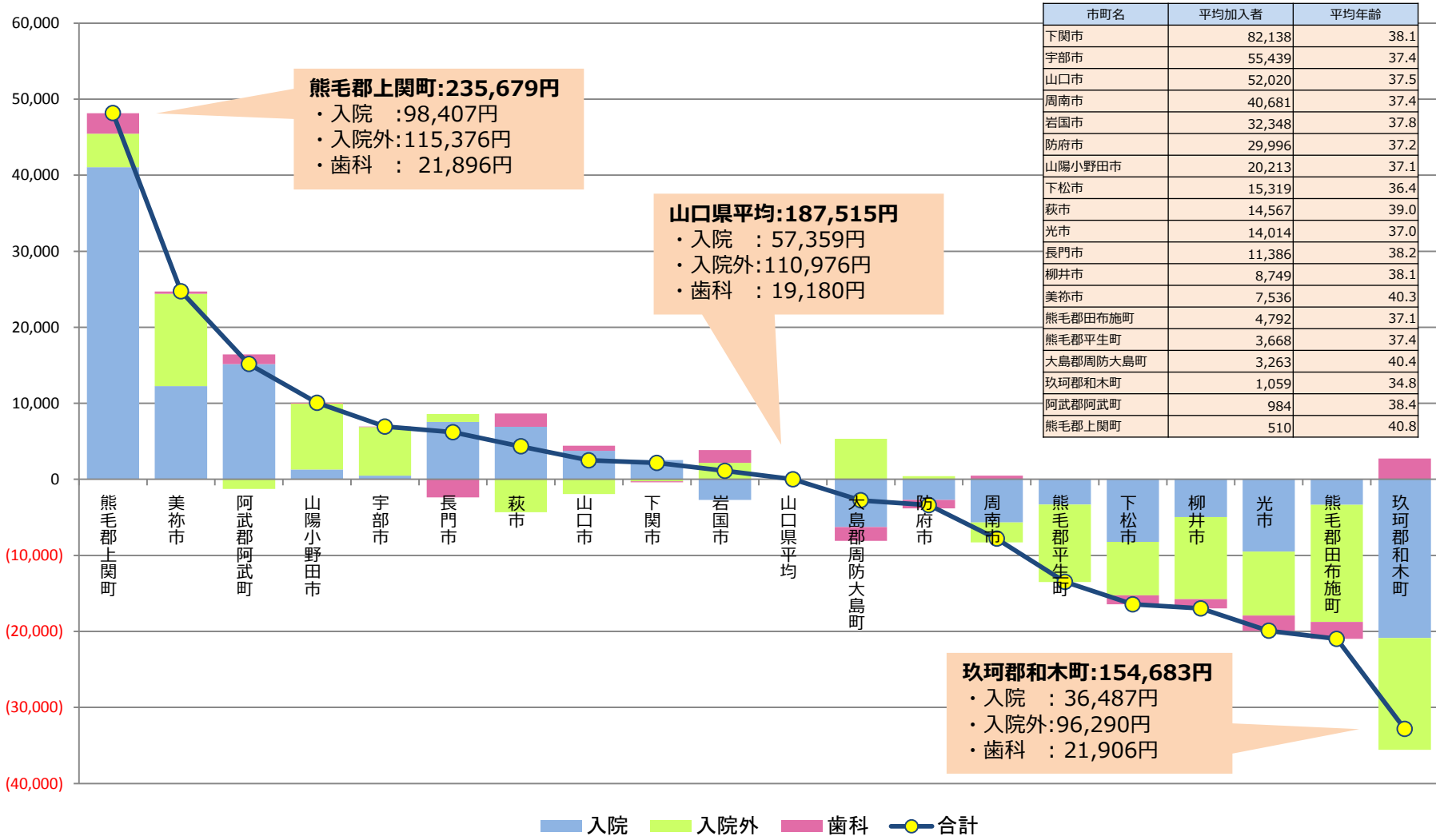
山口支部加入者1人あたりの二次医療圏別各医療費の比較（平成28年度）

二次医療圏別で見た場合、1人あたりの入院および入院外医療費は宇部小野田圏、長門圏が高く、周南圏、柳井圏が低い傾向にあります。
 萩圏は1人あたりの入院外医療費は低いですが、入院医療費が非常に高いため、トータルで高くなっています。
 ※加入者の住所地ベースです。縦軸は山口県平均との差で、単位は円です。



山口支部加入者1人あたりの市町別各医療費の比較（平成28年度）

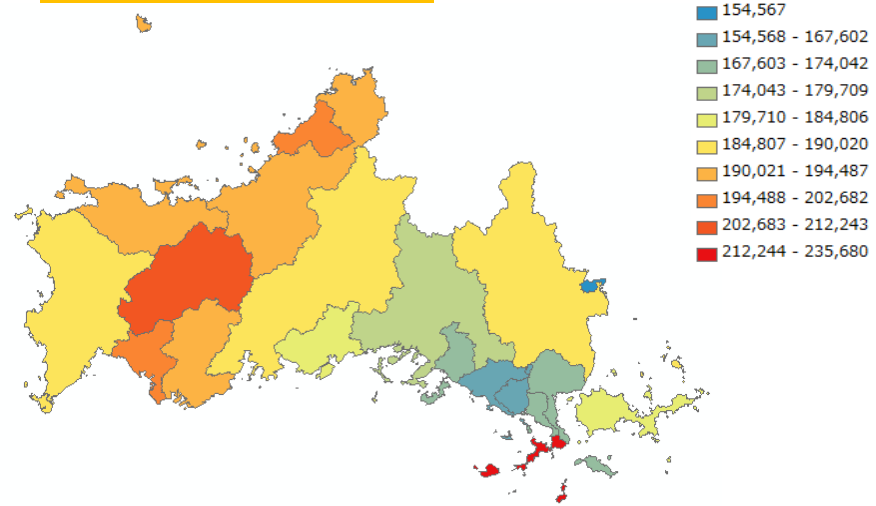
市町別で見た場合、1人あたりの医療費は高いほうから、熊毛郡上関町、美祢市、阿武郡阿武町の順となっています。ただし、表のとおり郡部は加入者数自体が少ないため、一人でも高額な医療を受けた場合、その影響が全体に及びやすいことから、参考値として認識した方が適切と考えられます。市部で見ると、美祢市、山陽小野田市、宇部市（すべて宇部小野田圏）が高く、周南市、下松市、光市（すべて周南圏）、柳井市（柳井圏）が低いことがわかります。※加入者の住所地ベースです。縦軸は山口県平均との差で、単位は円です。



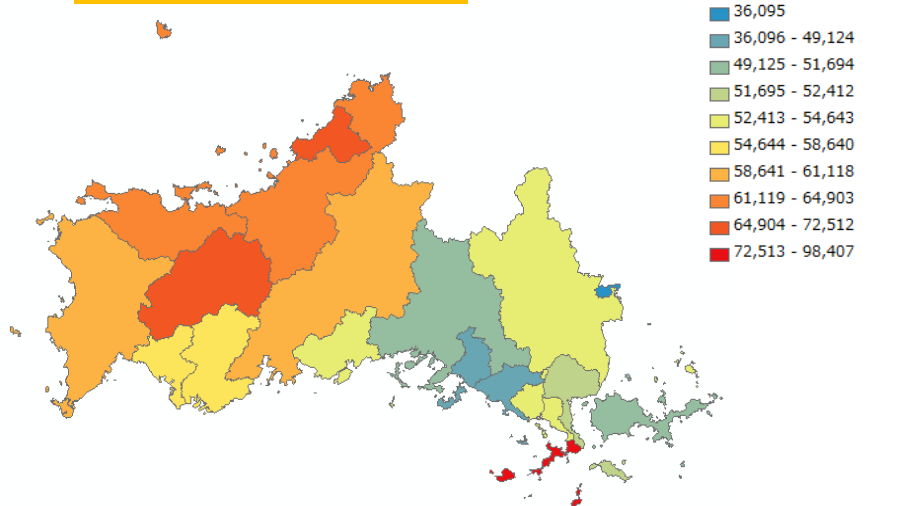
山口支部加入者1人あたりの市町別各医療費の比較（平成28年度）

市町別の1人あたりの医療費を地図上に示したものです。

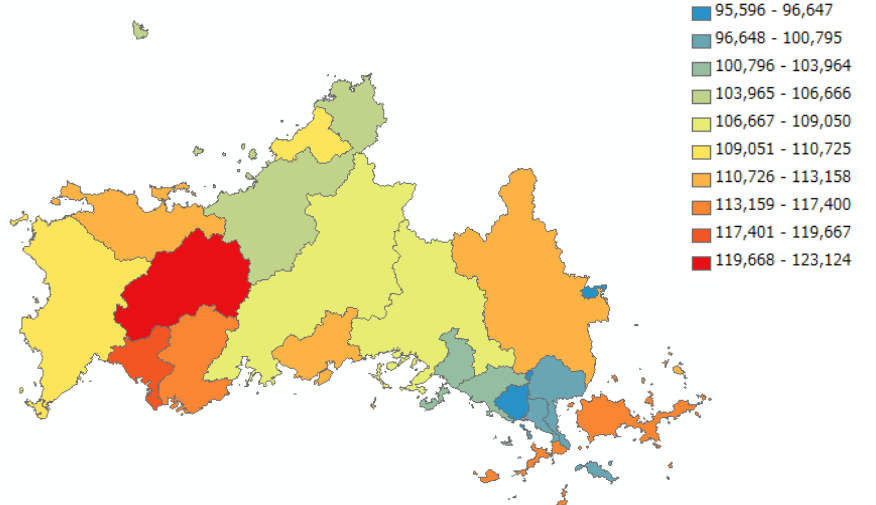
一人当たり医療費



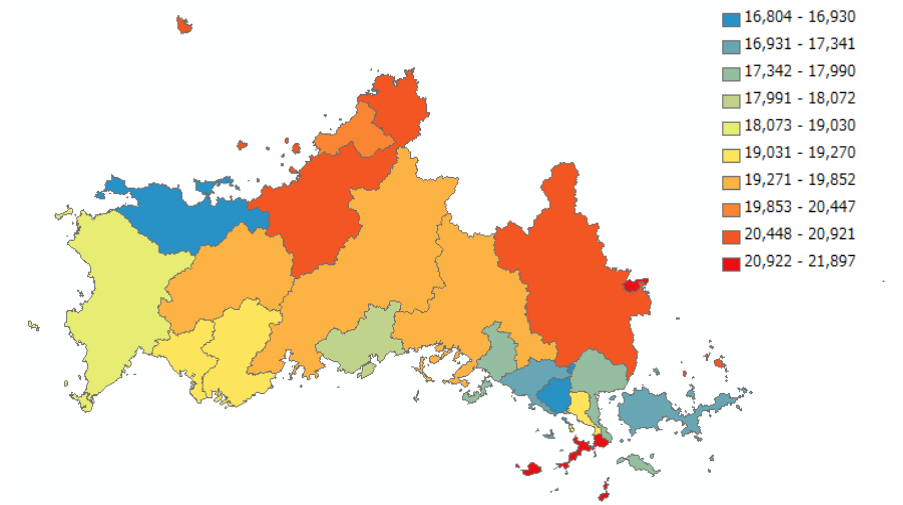
一人当たり入院医療費



一人当たり入院外医療費



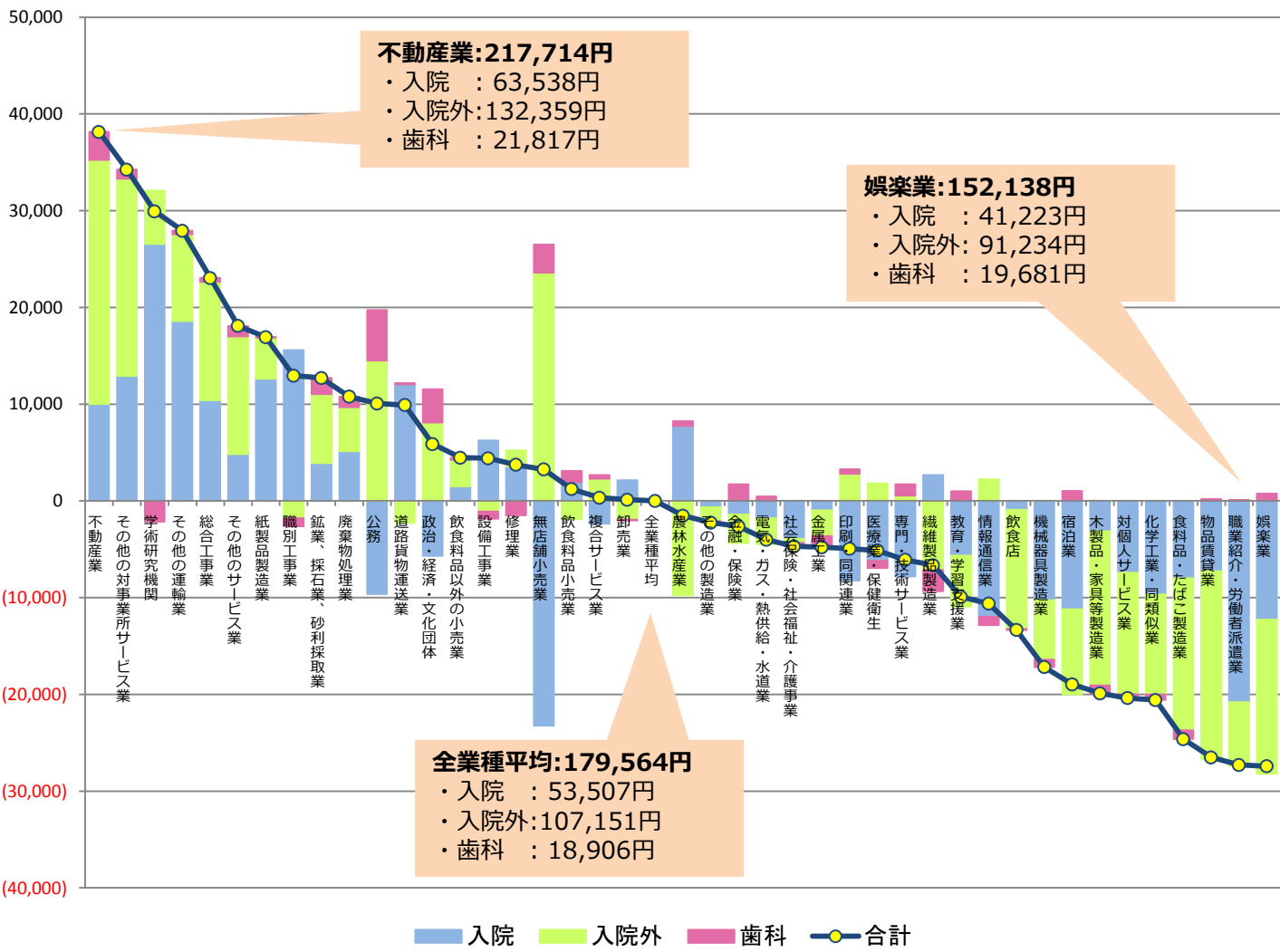
一人当たり歯科医療費



山口支部加入者1人あたりの事業所業態区分別各医療費の比較（平成28年度）

事業所業態区分別で見た場合、1人あたりの医療費は高いほうから、**不動産業、その他の対事業所サービス業、学術研究機関、その他の運輸業**の順となっています。ただし、表のとおり、学術研究機関や無店舗小売業は加入者数自体が少ないため、一人でも高額な医療を受けた場合、その影響が全体に及びやすいことから、参考値として認識した方が適切と考えられます。

※縦軸は全業種平均との差で、単位は円です。



業態	平均加入者数	加入者平均年齢
医療業・保健衛生	46,653	35.9
社会保険・社会福祉・介護事業	35,335	37.1
総合工事業	27,915	38.2
飲食品以外の小売業	26,331	37.5
機械器具製造業	25,605	34.5
道路貨物運送業	21,438	38.0
卸売業	20,332	36.5
職別工事業	16,939	35.0
化学工業・同類似業	16,401	34.8
設備工事業	16,291	35.7
食料品・たばこ製造業	15,379	37.5
その他の運輸業	14,626	40.9
金属工業	11,575	34.3
専門・技術サービス業	9,940	37.3
その他の対事業所サービス業	9,259	42.2
対個人サービス業	8,825	35.6
公務	8,608	46.7
複合サービス業	7,385	36.3
修理業	6,899	36.6
その他の製造業	5,723	36.3
飲食店	5,137	36.3
飲食品小売業	4,814	38.5
情報通信業	4,726	33.6
廃棄物処理業	4,663	37.6
娯楽業	4,426	36.4
不動産業	4,354	39.8
その他のサービス業	4,247	39.5
教育・学習支援業	3,798	38.5
宿泊業	3,728	38.5
印刷・同関連業	3,695	36.1
政治・経済・文化団体	3,598	43.3
木製品・家具等製造業	3,295	36.3
金融・保険業	3,140	37.2
農林水産業	2,979	38.4
電気・ガス・熱供給・水道業	2,971	35.0
職業紹介・労働者派遣業	2,900	39.1
繊維製品製造業	2,246	38.5
物品賃貸業	2,030	34.5
鉱業・採石業・砂利採取業	1,523	36.9
紙製品製造業	1,263	34.6
無店舗小売業	533	34.3
学術研究機関	143	42.1

IV.山口支部健診結果データの全国との比較

リスク保有率とは…

リスク保有率とは、健診結果をもとに健診受診者のうち下表の基準に該当する方の割合を示したものです。リスク保有率が高いほど、生活習慣病にかかる可能性が高いといわれています。

◆リスク保有率とは…

①メタボリックシンドロームのリスク保有率	・ ②かつ③～⑤のうち2項目以上に該当
②腹囲のリスク保有率	・ 内臓脂肪面積が100cm ² 以上 ・ 内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
③血圧のリスク保有率	・ 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
④脂質のリスク保有率	・ 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
⑤代謝のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・ 空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
⑥喫煙者の割合（参考）	・ 喫煙あり
⑦BMIのリスク保有率	・ BMI 25以上
⑧中性脂肪のリスク保有率（参考）	・ 中性脂肪150mg/dl以上
⑨HDLコレステロールのリスク保有率（参考）	・ HDLコレステロール40mg/dl未満
⑩空腹時血糖のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上

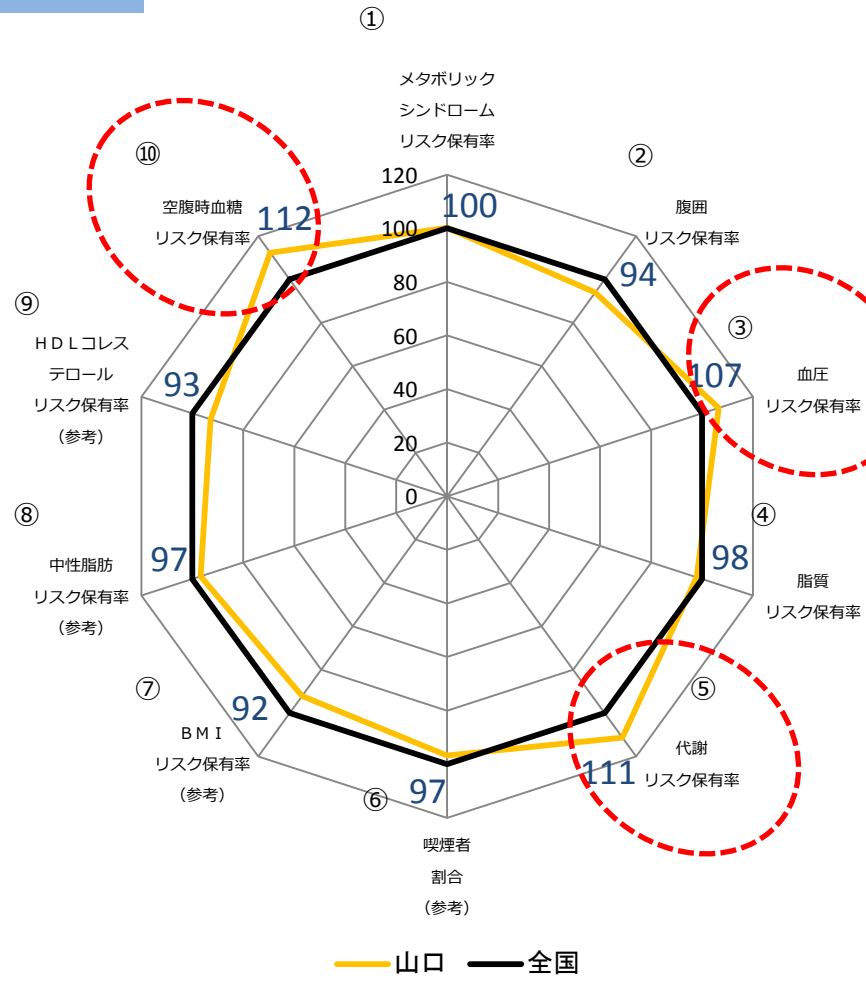
➤ 上記のリスク保有基準を踏まえ、次ページから各項目のリスク保有率についてみてみましょう。

各種リスク保有率の全国比較（平成28年度）

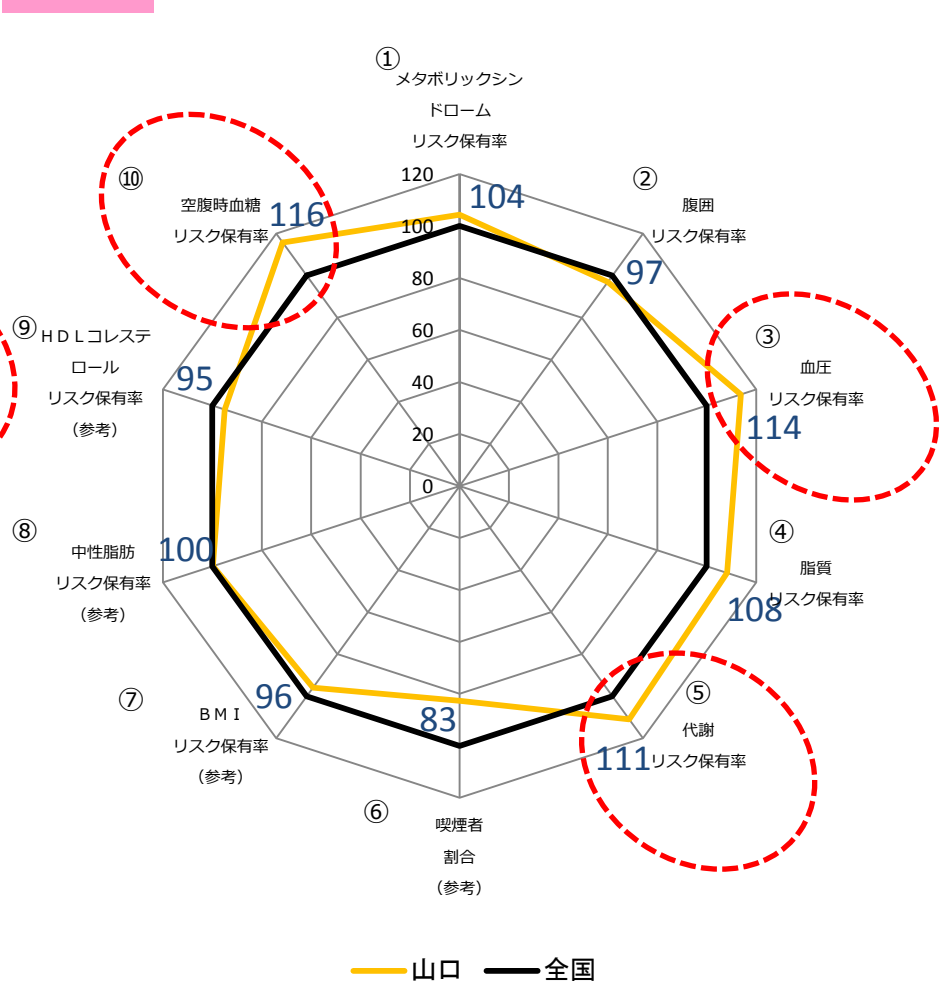
健診結果データをもとに各種リスク保有率を算出し、全国を100とした場合（下図の黒線）、山口支部は下図の青線になります。
 男女ともに代謝リスク保有率、空腹時血糖リスク保有率、血圧リスク保有率が高い傾向にあります。

➤次ページからこれら3つのリスク保有率について詳しく見てみましょう。

男性



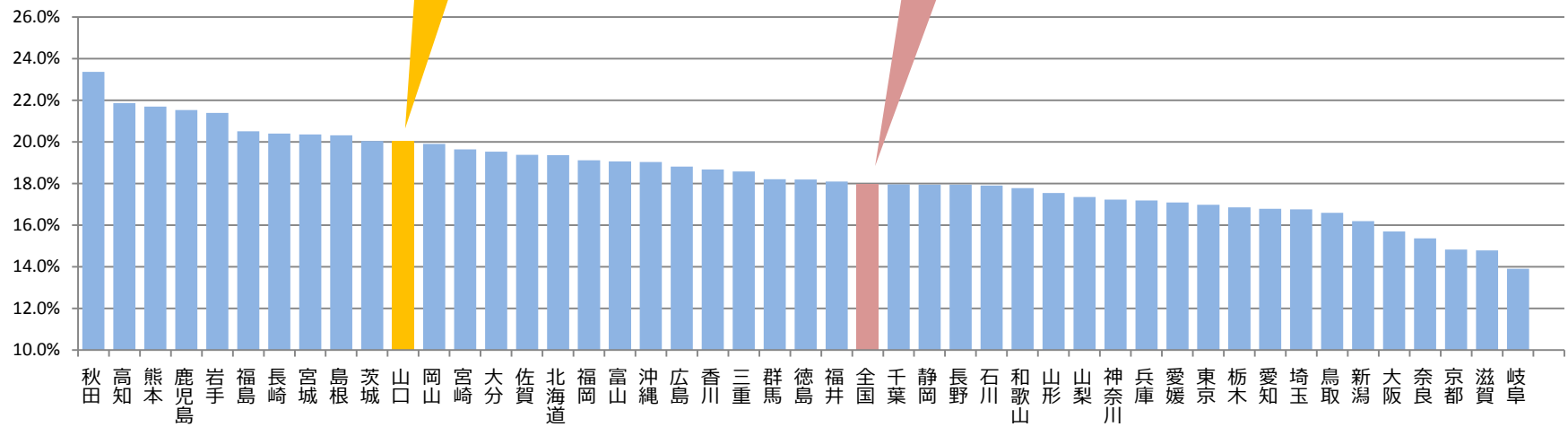
女性



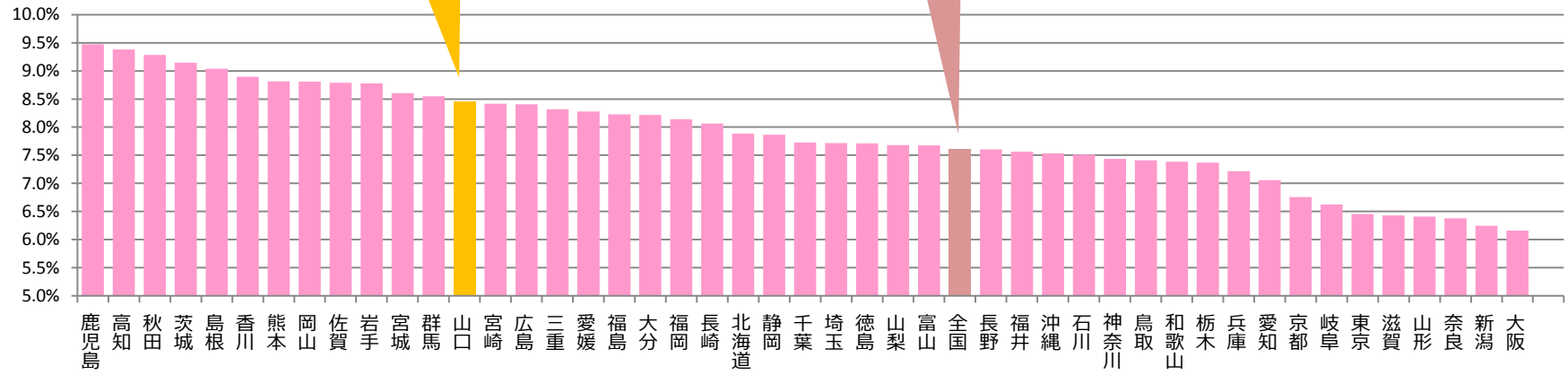
代謝リスク保有率の全国比較（平成28年度）

代謝リスク保有率について、山口支部は**男性は全国11位**、**女性は全国14位**と高い水準にあります。

男性



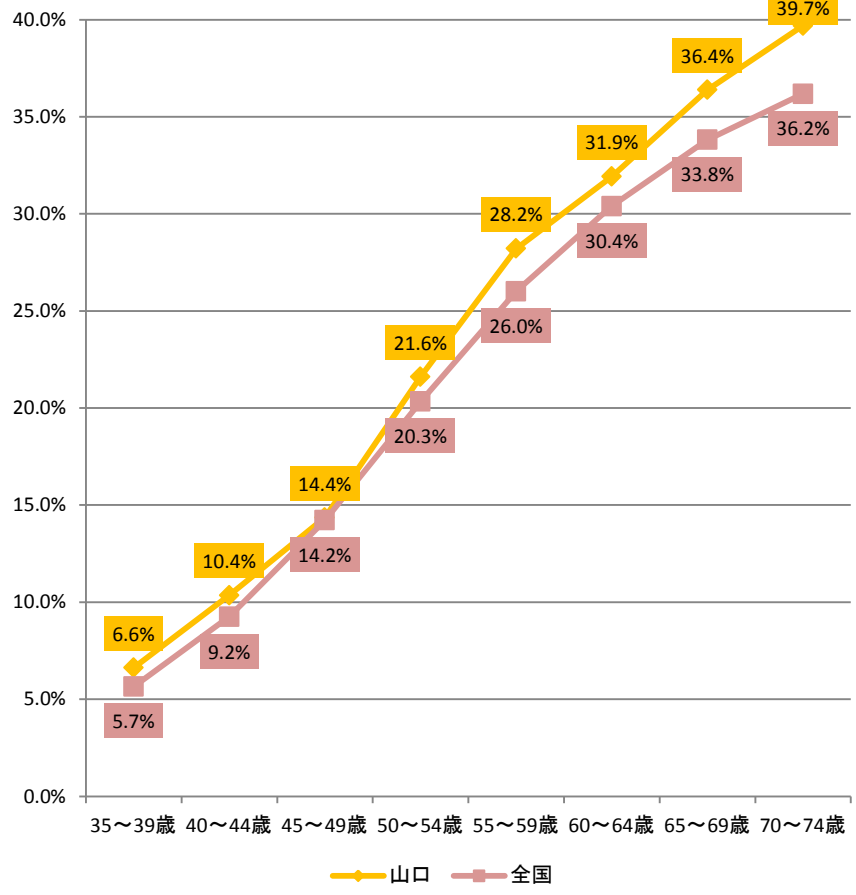
女性



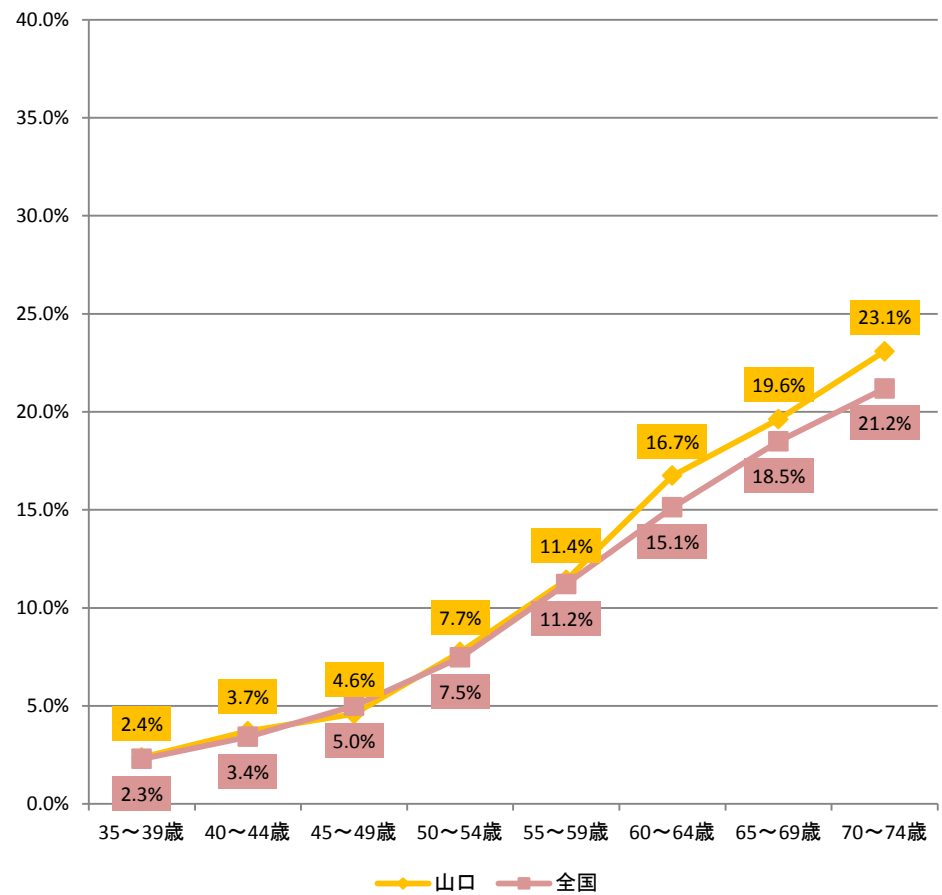
代謝リスク保有率の年齢階級別比較（平成28年度）

代謝リスク保有率について、山口支部は男性が**全国平均よりも高い傾向にあり、55歳以降が顕著です**。全体の順位では11位でしたが、55歳以降に限ると9位に上がります。女性は60歳代が全国平均よりも高いですが、それ以外は全国平均に近いです。

男性



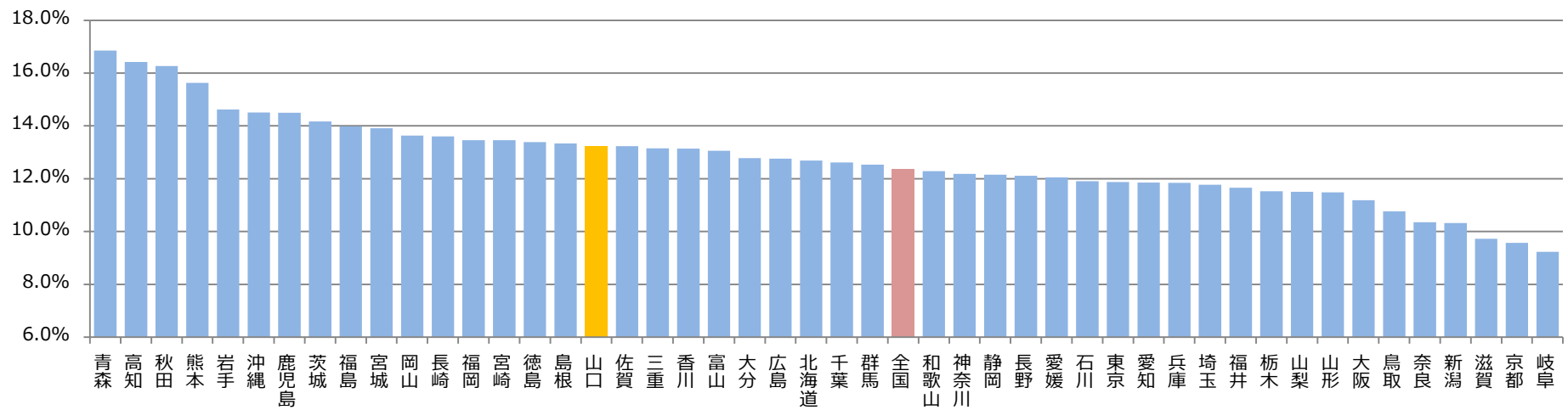
女性



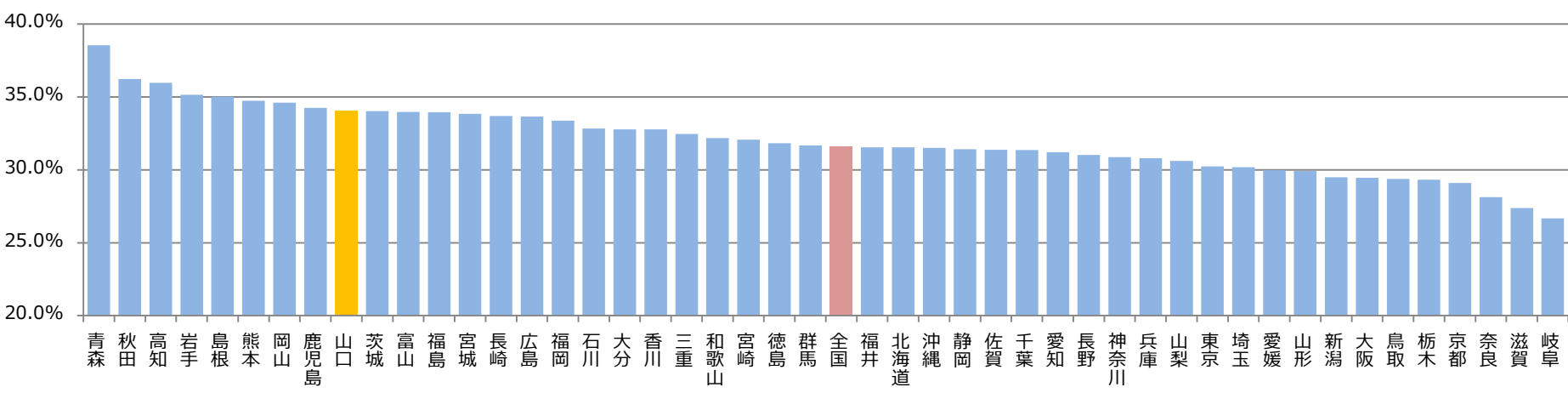
代謝リスク保有率の年齢階級別全国比較（平成28年度）

代謝リスク保有率について、山口支部の男性は55歳未満に限ると全体の順位が17位です。それに対して、**55歳以降に限ると全体の順位は9位まで上がり**、全世代の順位も押し上げています。

男性：55歳未満の平均



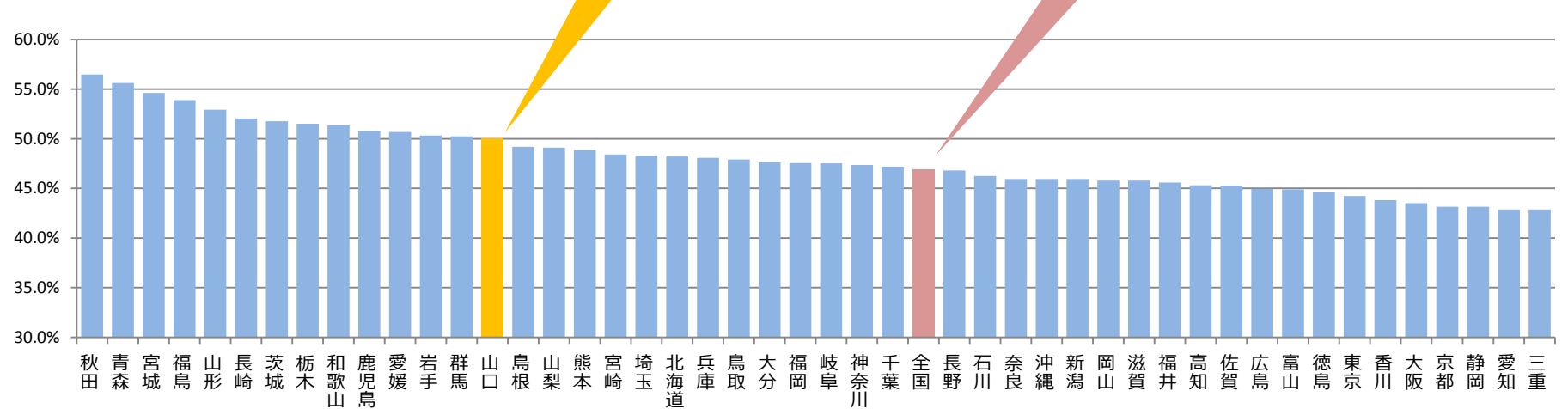
男性：55歳以上の平均



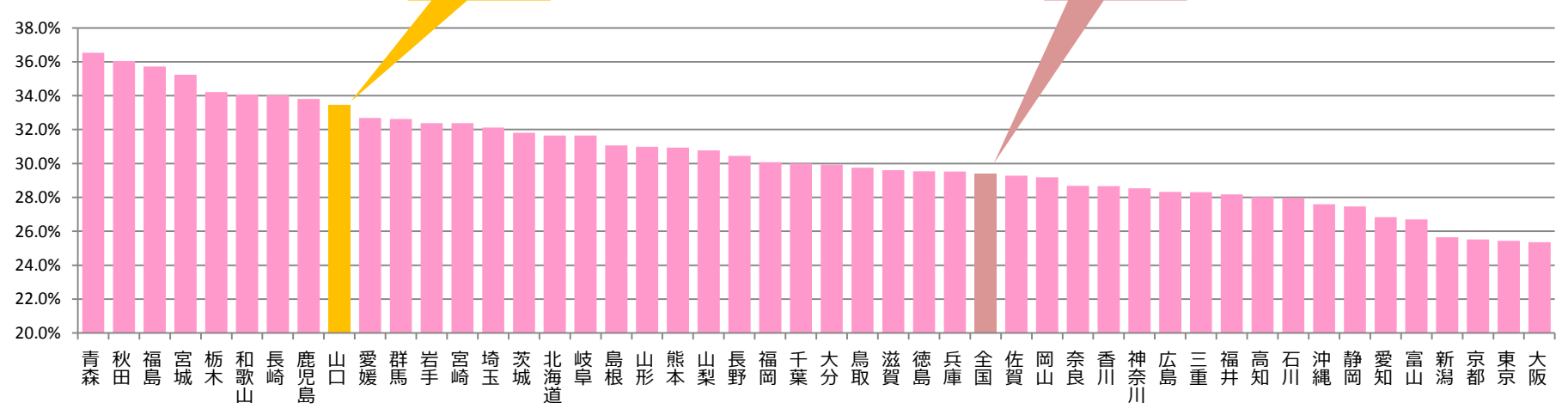
血圧リスク保有率の全国比較（平成28年度）

血圧リスク保有率について、山口支部は**男性は全国14位、女性は全国9位と高い水準**にあります。

男性



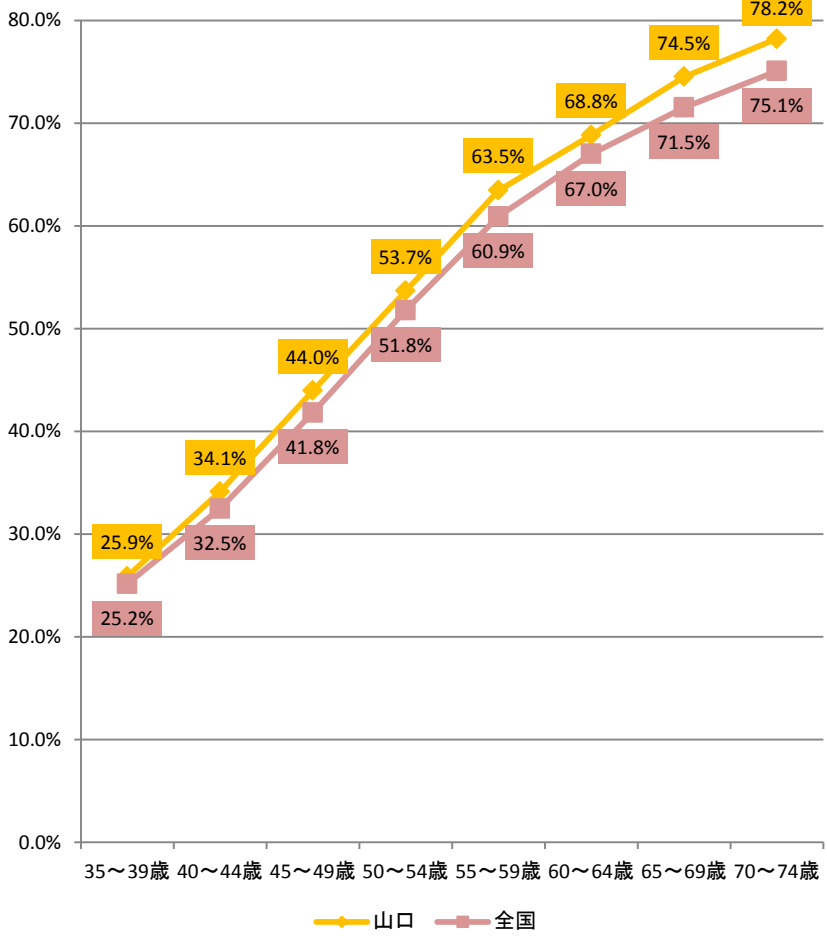
女性



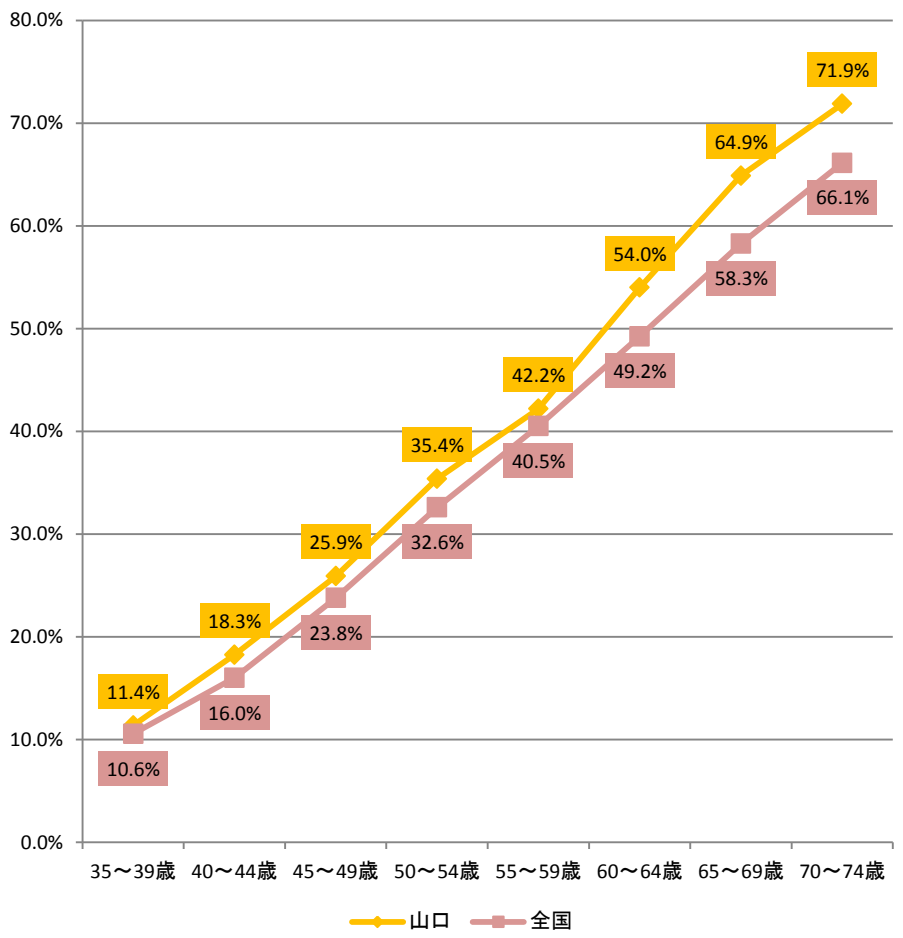
血圧リスク保有率の年齢階級別比較（平成28年度）

血圧リスク保有率について、山口支部は男女とも全国平均よりも高い水準にあります。特に男性は65歳以降、女性は60歳以降で全国との差が広がる傾向があります。

男性



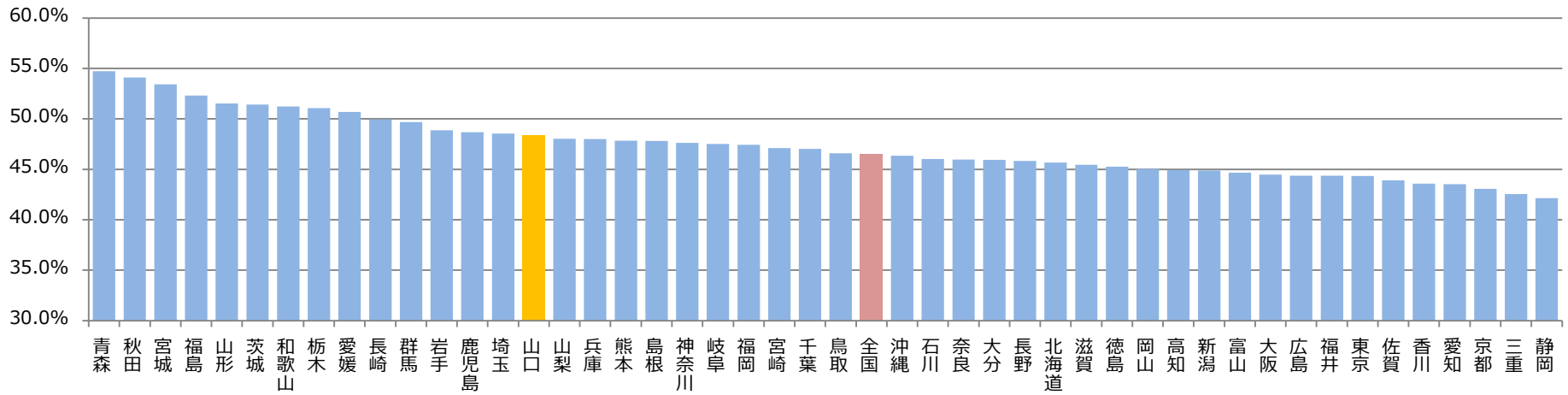
女性



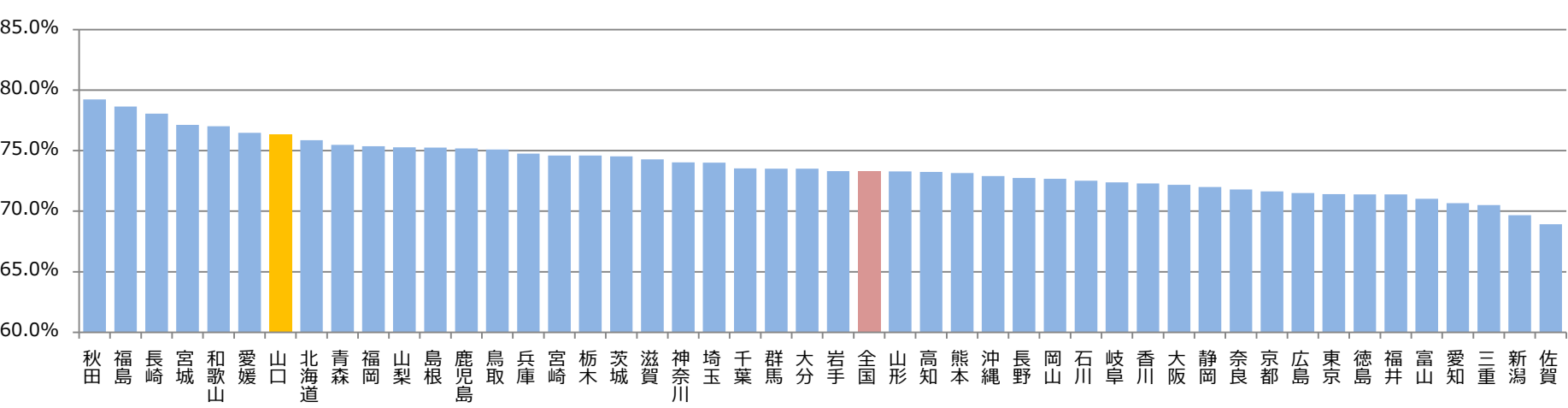
血圧リスク保有率の年齢階級別全国比較（平成28年度）

血圧リスク保有率について、山口支部の男性は65歳未満に限ると全体の順位が15位です。それに対して、**65歳以降に限ると全体の順位は7位まで上がり、全世代の順位も押し上げています。**

男性：65歳未満の平均



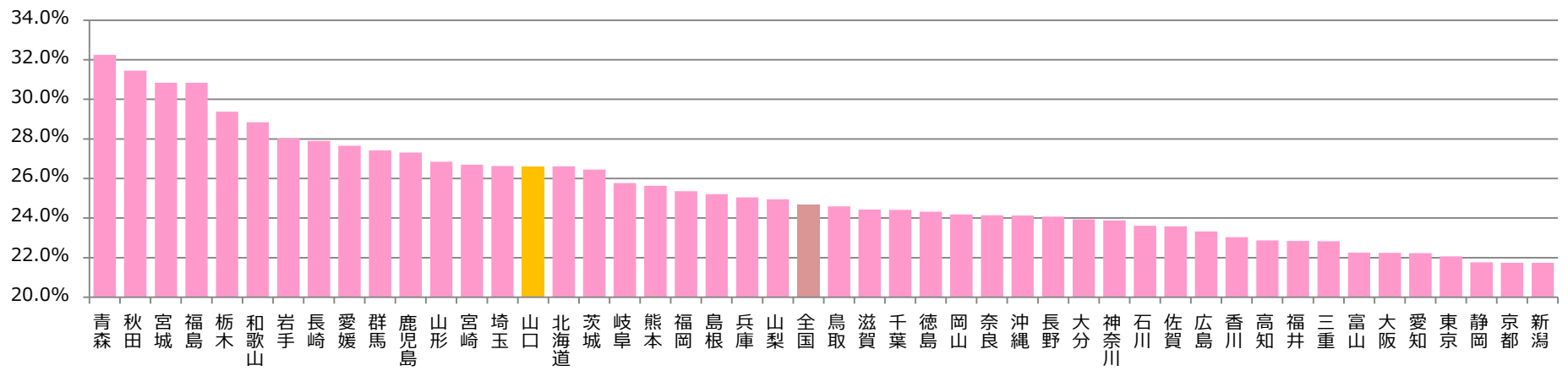
男性：65歳以上の平均



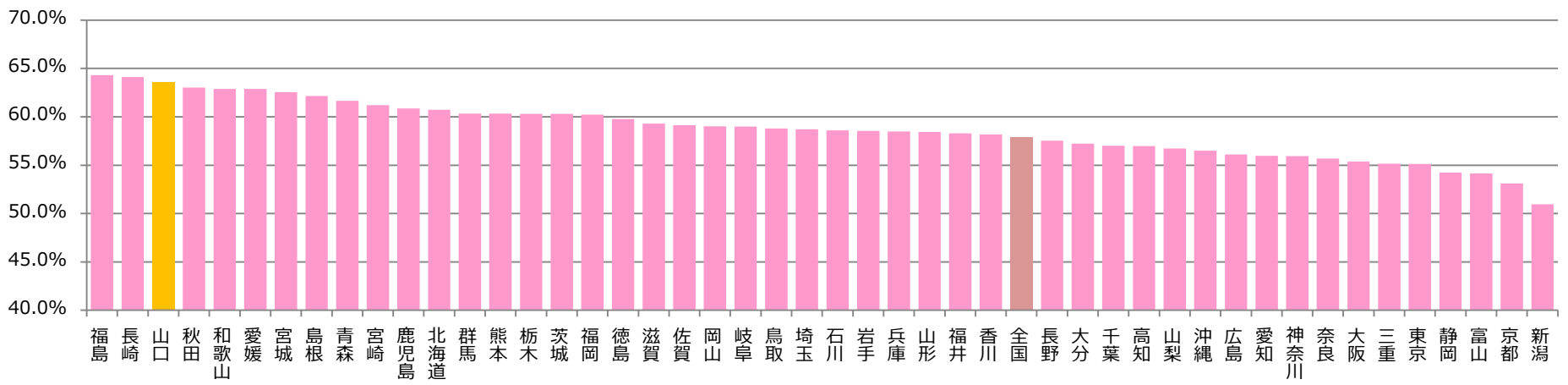
血圧リスク保有率の年齢階級別全国比較（平成28年度）

血圧リスク保有率について、山口支部の女性は60歳未満に限ると全体の順位が15位です。それに対して、**60歳以降に限ると全体の順位は3位まで上がり、全世代の順位も押し上げています。**

女性：60歳未満の平均

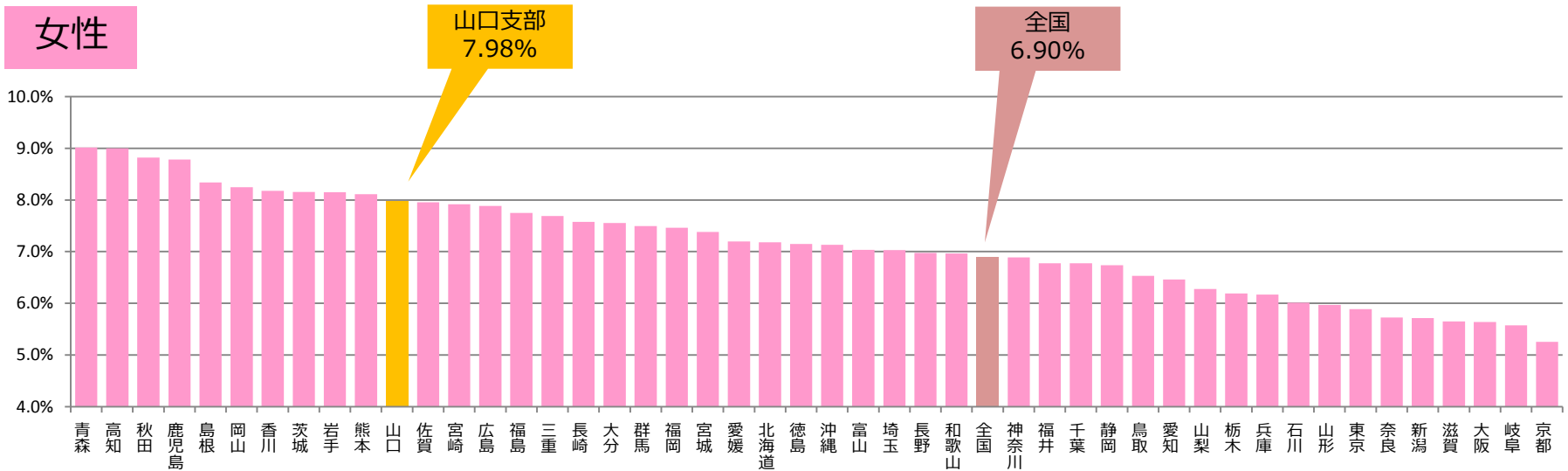
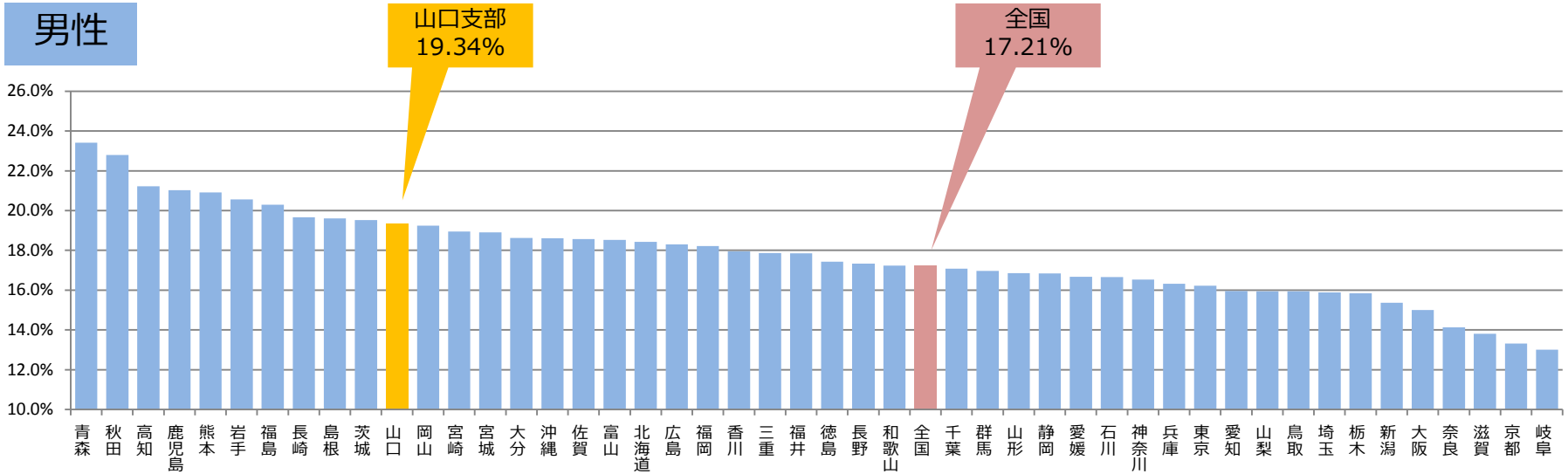


女性：60歳以上の平均



【参考】空腹時血糖リスク保有率の全国比較（平成28年度）

※空腹時血糖は代謝リスクを判定する際の基準として用いられていますので、参考資料として掲載しています。
 空腹時血糖リスク保有率について、山口支部は**男女とも高い水準**にあります。



V.山口支部健診結果データの県内での比較

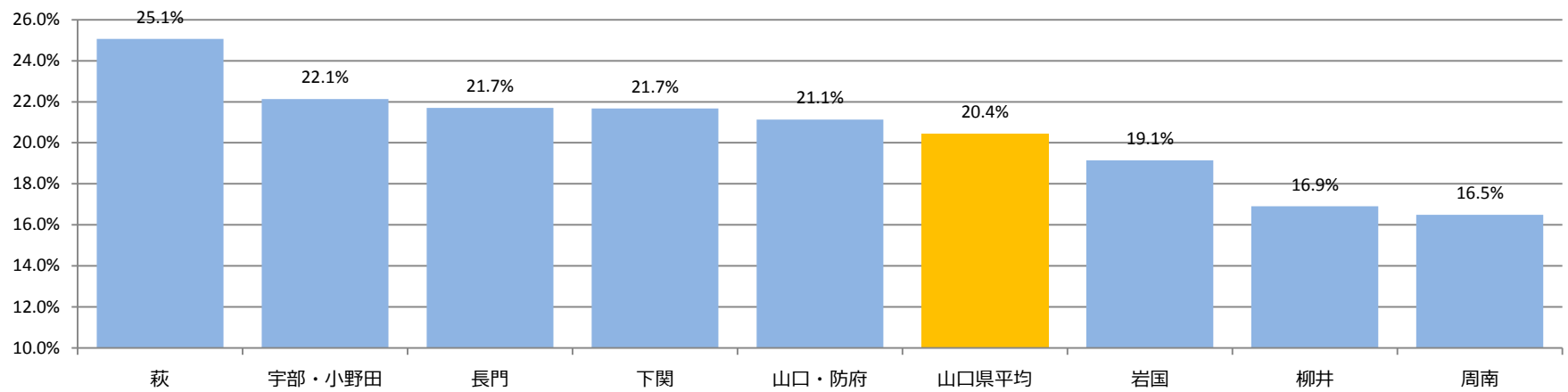


全国健康保険協会 山口支部
協会けんぽ

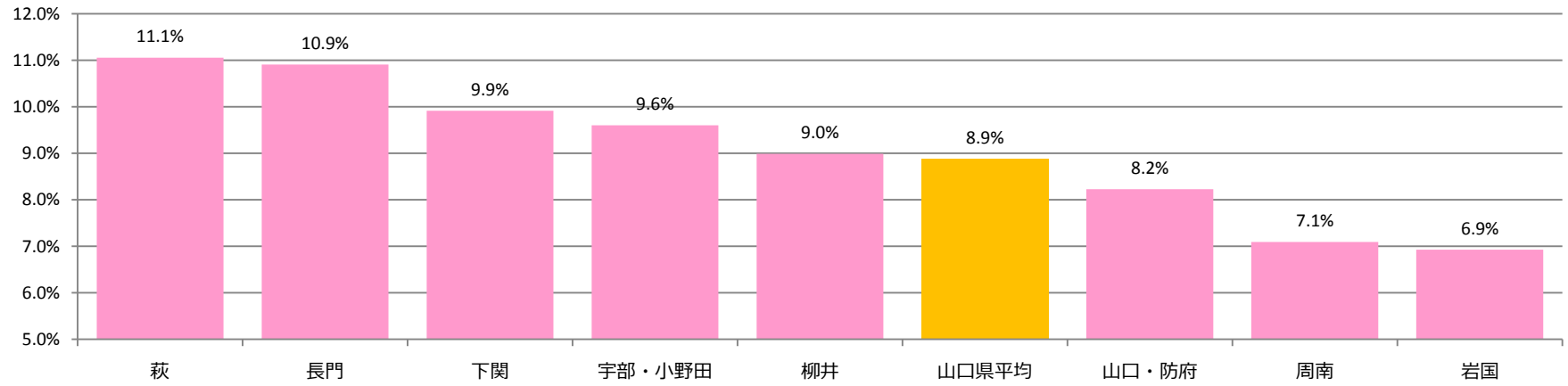
代謝リスク保有率の二次医療圏別比較（平成28年度）

男女とも、萩圏・長門圏が比較的高く、周南圏が低い傾向にあります。「IV.山口支部健診結果データの全国との比較」において、全国平均との差が顕著であった55歳以降の男性に限って見ると下関圏も高くなっています。

男性



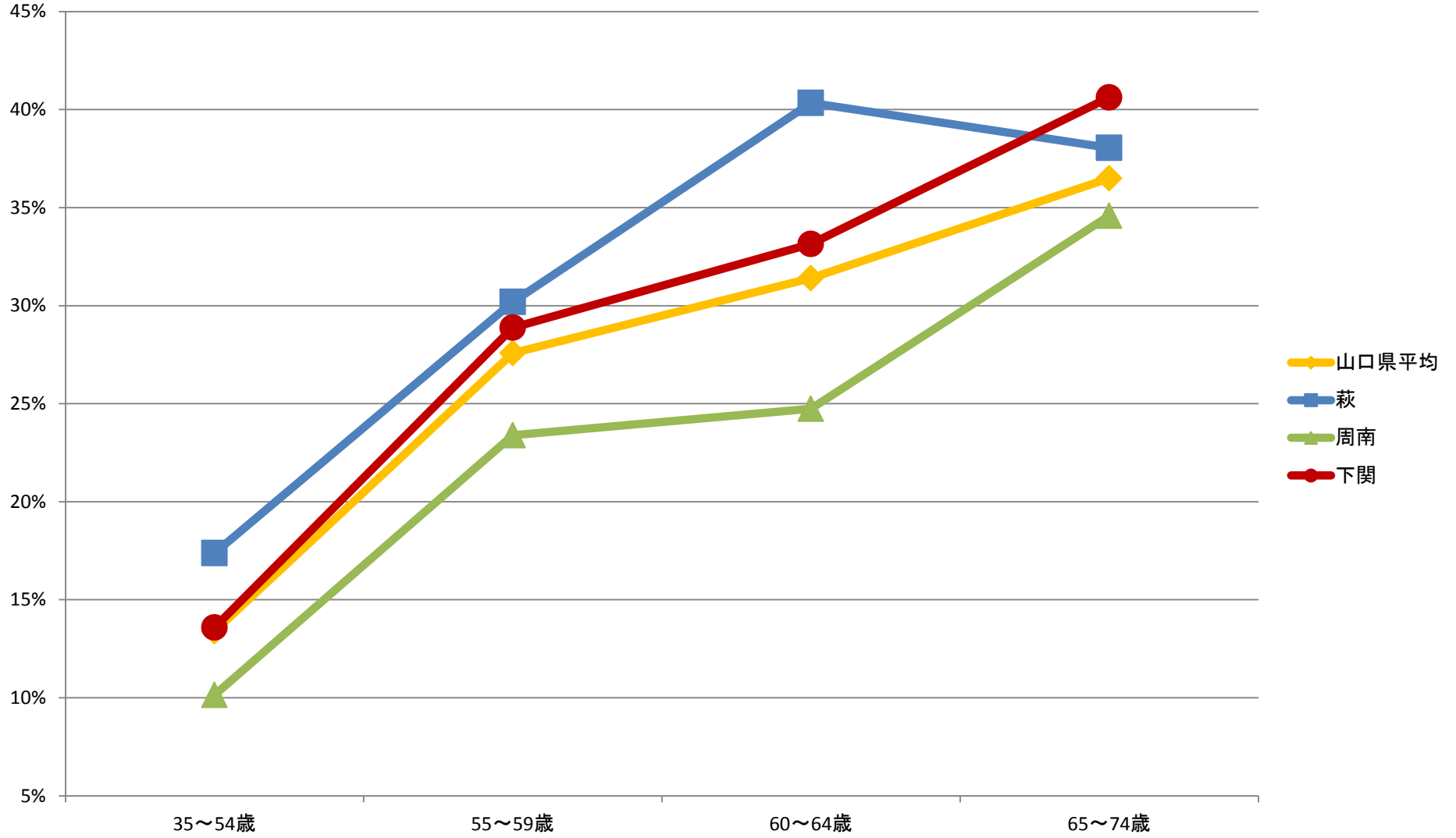
女性



代謝リスク保有率の年齢階級別二次医療圏比較（平成28年度）

山口支部内の男性の55歳以降に焦点を当てた年齢階級（※65～74歳は件数が少ないため合算）ごとの代謝リスク保有率の推移について、主立った地域を抜粋して示しています。県内で最もリスク保有率が高かった萩圏は65歳以降でリスク保有率が下がっていますが、概ね各年代とも高くなっています。最もリスク保有率が低かった周南圏は各年代とも低い結果となっていますが、65歳以降では県平均に迫るほどの上昇が見られます。

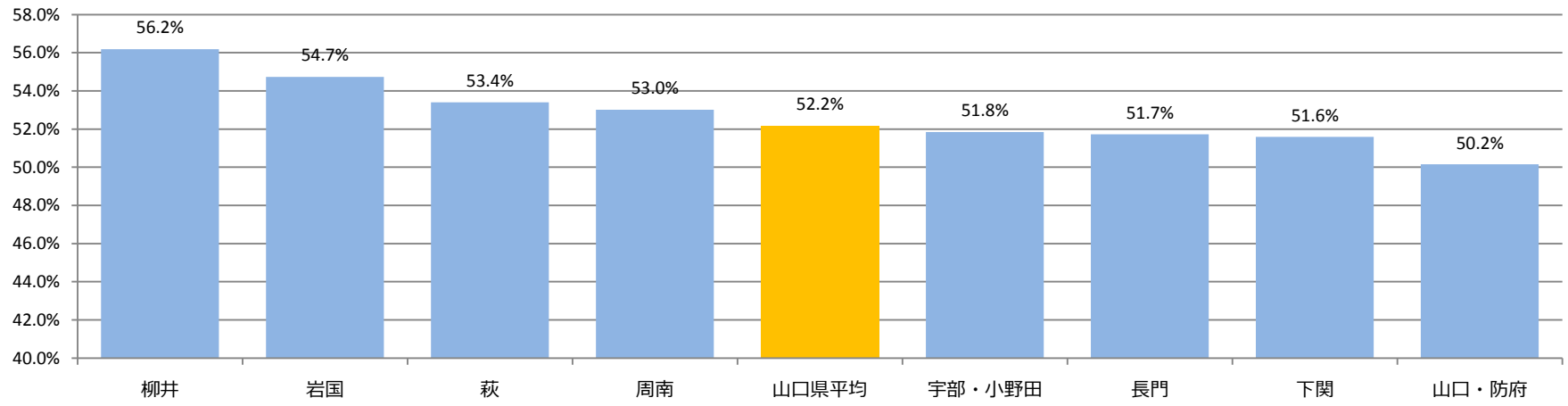
下関圏については54歳未満では平均並みでしたが、55歳以降から徐々にリスク保有率が上昇していき、65歳以降では県内で最もリスク保有率が高くなっています。



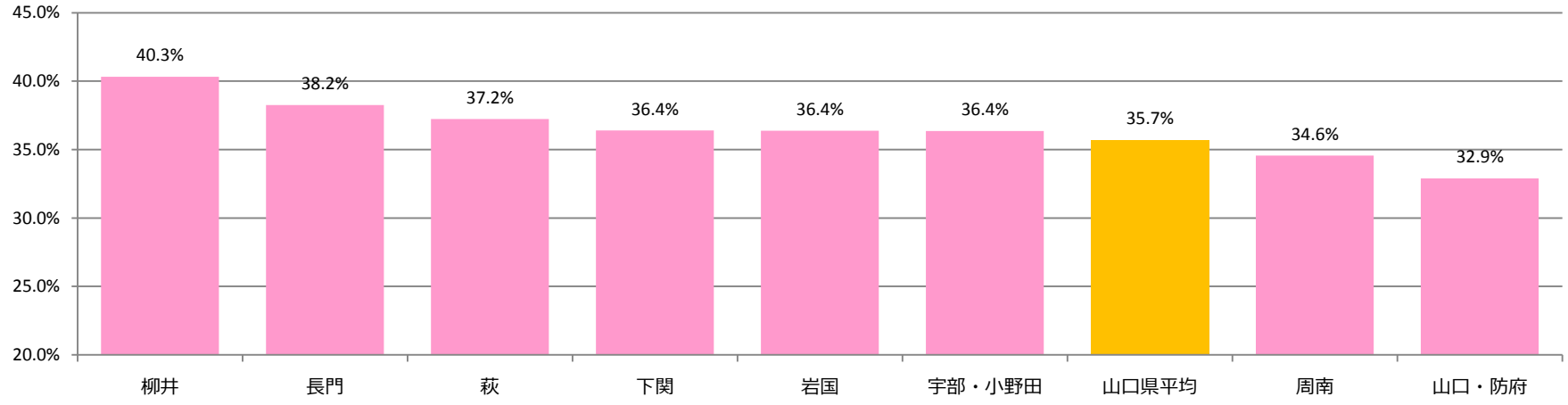
血圧リスク保有率の二次医療圏別比較（平成28年度）

男女とも、柳井圏が比較的高く、山口防府圏が低い傾向にあります。「Ⅳ.山口支部健診結果データの全国との比較」において、全国平均との差が顕著であった65歳以降の男性、60歳以降に限って見ると、男性では萩圏、女性では周南圏が高くなっています。

男性



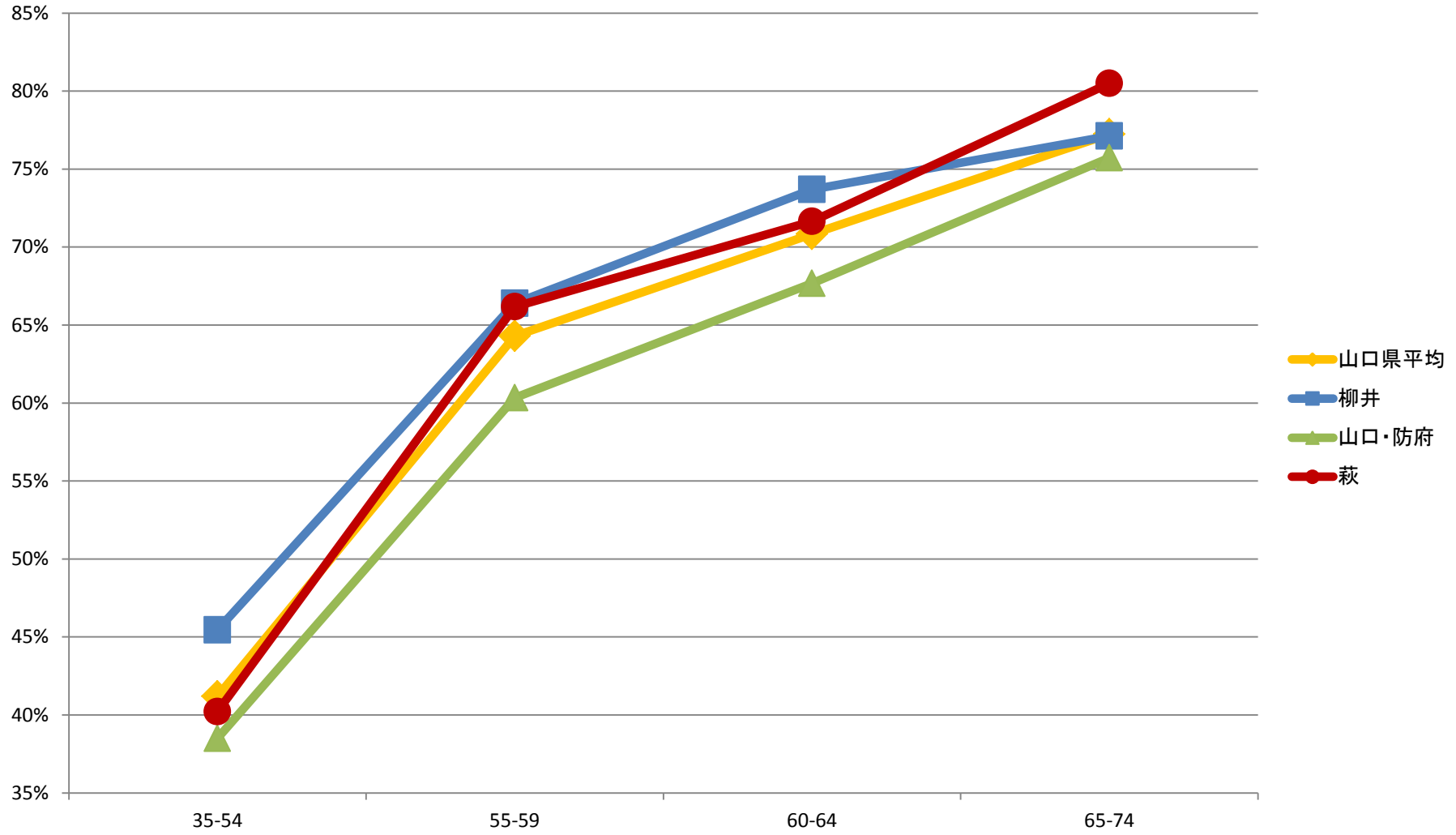
女性



血圧リスク保有率の年齢階級別二次医療圏比較（平成28年度）

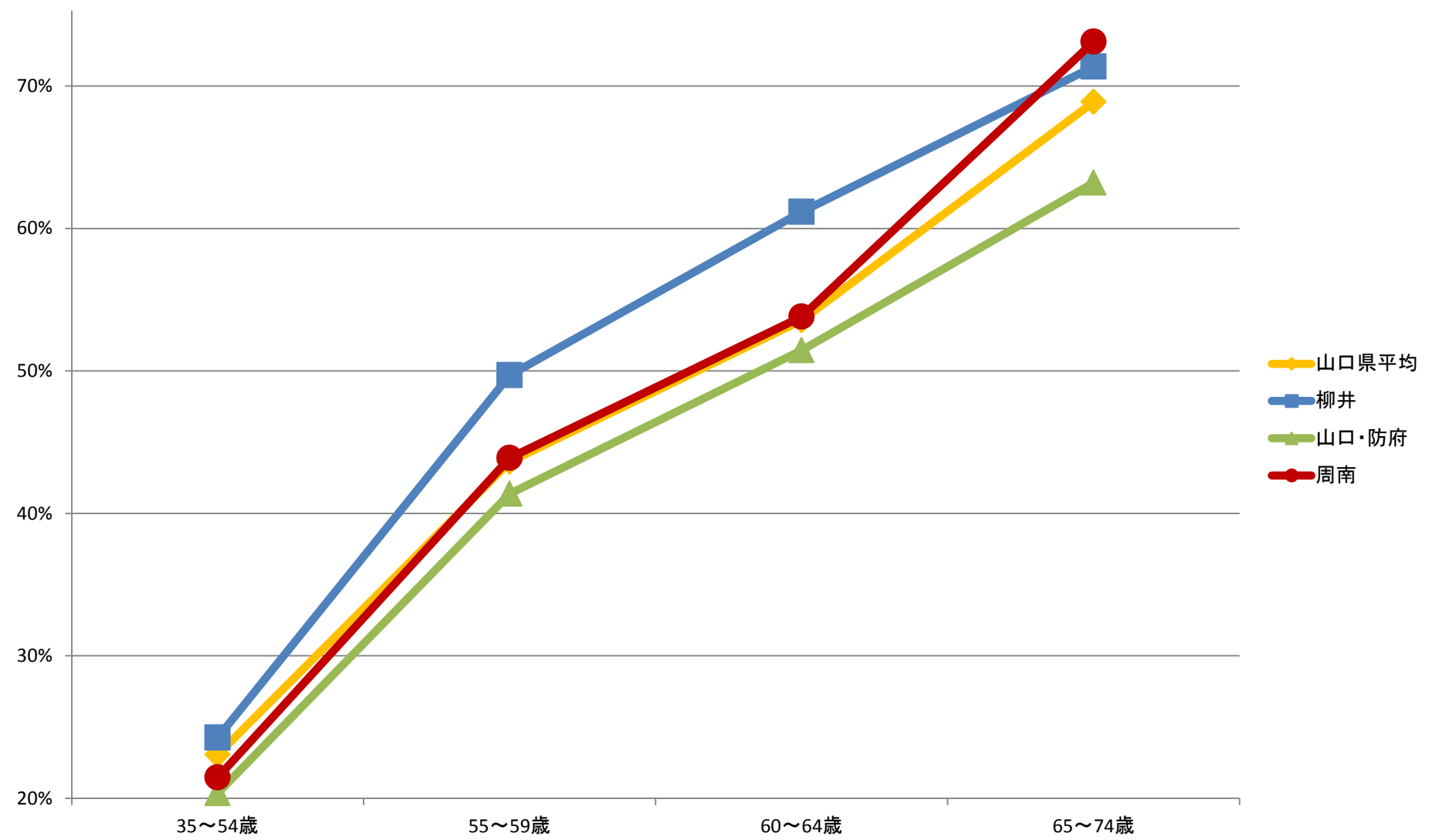
山口支部内の男性の55歳以降に焦点を当てた年齢階級（※65～74歳は件数が少ないため合算）ごとの血圧リスク保有率の推移について、主立った地域を抜粋して示しています。県内で最もリスク保有率が高かった柳井圏ですが、65歳以降では平均並みのリスク保有率となっています。最もリスク保有率が低かった山口・防府圏は各年代とも低い結果となっています。

萩圏については54歳未満では平均以下でしたが、55歳以降では平均を上回るほど上昇し、65歳以降では県内で最もリスク保有率が高くなっています。



血圧リスク保有率の年齢階級別二次医療圏比較（平成28年度）

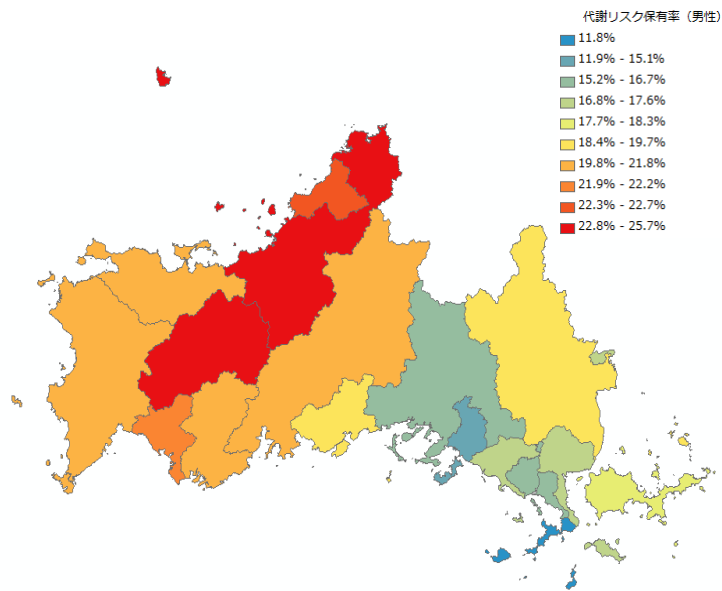
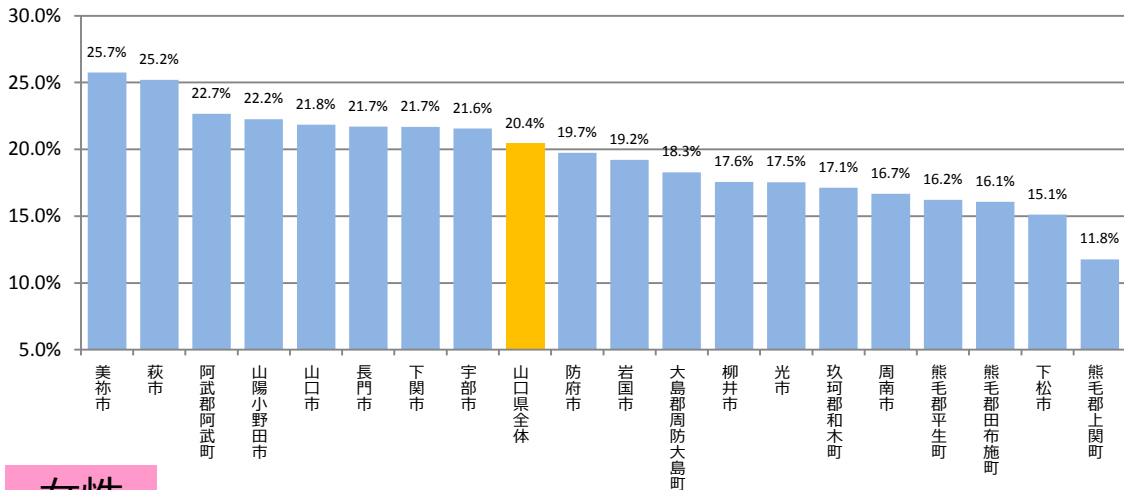
山口支部内の女性の55歳以降に焦点を当てた年齢階級（※65～74歳は件数が少ないため合算）ごとの血圧リスク保有率の推移について、主立った地域を抜粋して示しています。県内で最もリスク保有率が高かった柳井圏は各年代とも高くなっています。最もリスク保有率が低かった山口・防府圏は各年代とも低い結果となっています。周南圏については54歳未満では平均並みであったリスク保有率が65歳以降で大幅に上昇し、県内で最もリスク保有率が高くなっています。



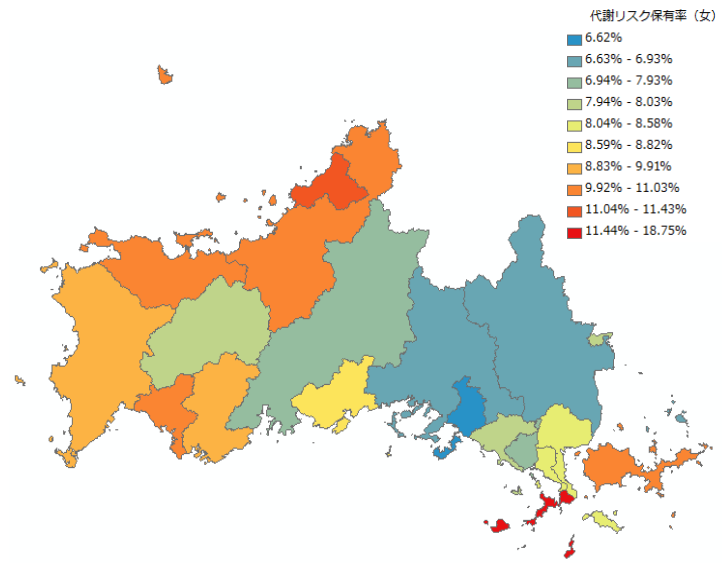
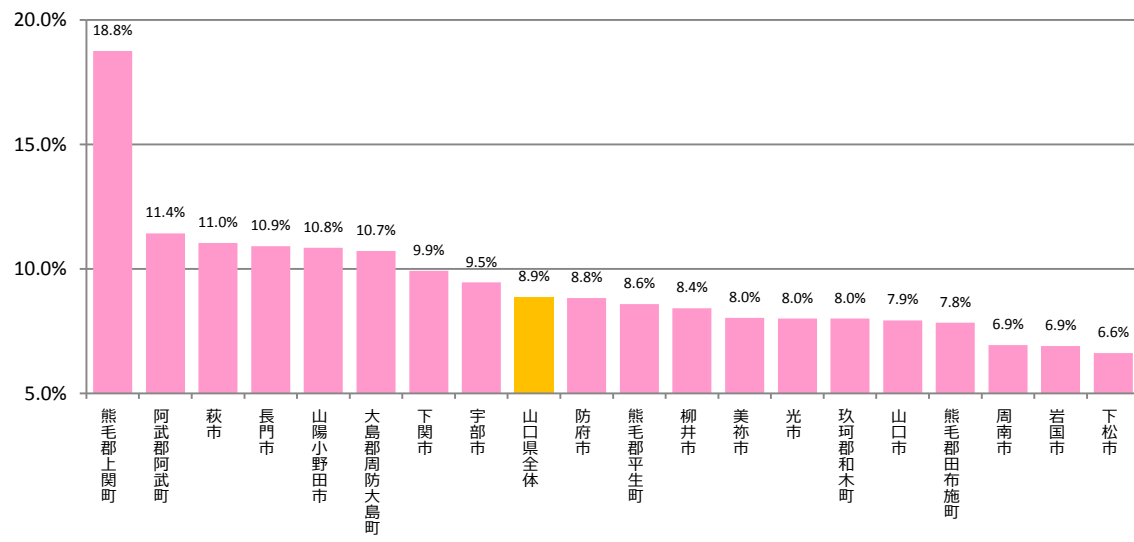
代謝リスク保有率の市町別比較 (平成28年度)

男女とも、萩市、長門市が比較的高く、周南市、下松市が低い傾向にあります。熊毛郡上関町は男性では最も低いですが、女性では最も高くなっています。

男性



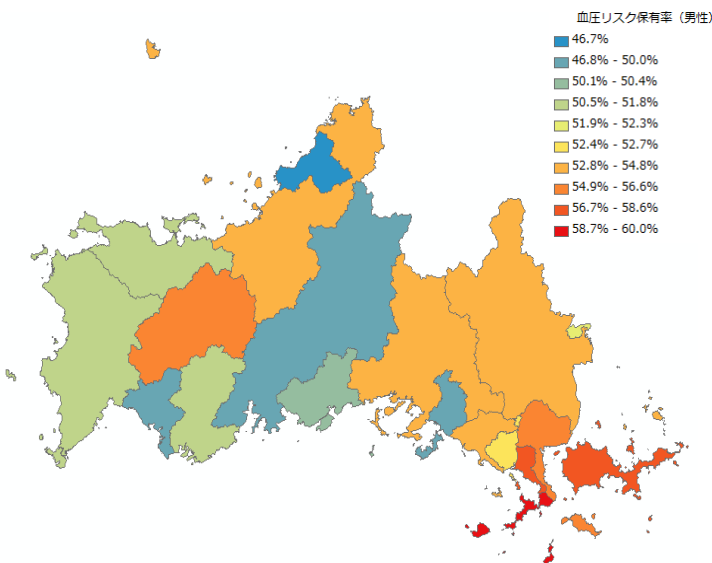
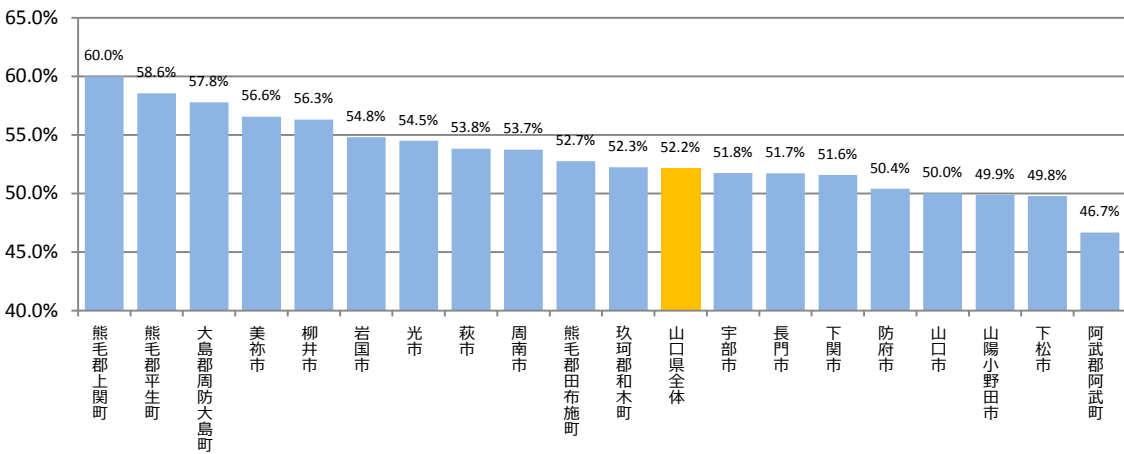
女性



血圧リスク保有率の市町別比較（平成28年度）

男女とも、上関町、周防大島町、平生町が比較的高く、山口市が低い傾向にあります。

男性



女性

